



# Web Fairy Paradise

第35号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第33回WFPフェアリー作品展
- ・ 第44回推理将棋出題

結果発表

- ・ 第32回WFPフェアリー作品展
- ・ 第43回推理将棋出題
- ・ Fairy of the Forest #27
- ・ 第10回詰四会フェアリー作品展
- ・ がんばろう日本！祈念作品展

読み物

- ・ 1手詰コンクール？追記4
- ・ twitterから

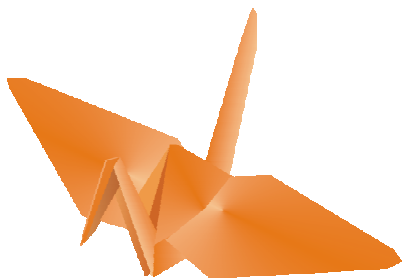
がんばろう！日本



2011/5

## はじめに

---



震災から2ヶ月が経ちましたが、まだまだ復興への道は険しそうです。私も関係している建築業界も震災の影響は少なからずあり、資材や設備機器が届かず完成が遅れている現場も見受けられます。実は心配なのは今後なのです。建築資材等が震災地域を優先して使われる可能性が大きく震災に遭わなかった地域に資材が届かないと言う状況が懸念されています。どうなるかは今のところ分からない状況で不安はありますね。

Fairy Top IX 2010 の発表も終わり今月号はページ数が少ないのかなとお思いのあなた！実は今月号も48ページという先月並のボリュームです。WFP 作品展、詰将棋メモ推理将棋第43回出題、Fairy of the Forest #27、詰四会フェアリー作品展、がんばろう日本！祈念作品展などの結果発表や今回初めて twitter からフェアリー詰将棋の話題を取り上げて見ました。Twitter はなかなかの話題の宝庫、まだ参加されていない方は是非とも参加してみたいかがででしょうか？もちろんお金は要りません。

解図日記にて勝手に【FTTT1】という課題を提示してみましたがお二人に方からさっそく作品投稿がありました。（記事参照下さい）相馬氏のHP「詰将棋マニアックス」の中に「どなたか作って下さいな」というコーナーがありかつて盛り上がっておりました。そんな感じでしょうか？そのコーナーのフェアリー版も面白そうです。【FTTT】2番以降の課題も募集します。「どなたか創ってくださいね（フェアリー版）」創って欲しい課題、条件がありましたらどしどし私までメール下さいませ。

よろしくお祈りします。

## 【募集】

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

### 感想

第35号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

### 協力いただいている方々のHPアドレス

\* ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

#### イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

\* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

# 第 33 回 WFP 作品展

担当：神無七郎

## まえがき & 今回の出題について



上の写真は両親が旅行鞆を整理していた時に出てきたもの。書かれているのは有名な徳川家康の遺訓です。「人の一生は重荷を負て遠き道をゆくがごとし」で始まるこの遺訓は、どなたも一度は耳にしたことがあるでしょう。かなり前に日光に旅行した時の記念品らしいですが、つい先日まで旅行鞆の奥に眠っていたそうです。左端に書かれた日付は「慶長九年」。その年の暮れには「慶長の大地震」が起っています。（注：ただし旧暦で。西暦に直すと翌年の始めになります。）地震の起こった場所は異なりますが、日本が大規模な災厄に見舞われた年にこれが出てきたのは何か因縁めいてますね。この遺訓には「不自由を常とおもへば不足なし」とも書かれていて、電力不足が危惧される今年の夏に向けての心構えを説かれているような気持ちになります。詰将棋というのは自ら好んで重荷を背負うような趣味なので、詰棋人にとって多少の我慢などは朝飯前なのでしょうが、できれば望まぬ重荷が増えることなく、望む重荷（詰将棋）に専念できる状況であることを祈ります。

さて、今回の出題は全部で7題。中々充実した出題になりました。33-1の神無太郎氏の3作はセットですが、個別の解答でも構いません。33-5は非標準駒数&麒麟使用の作品です。受方の持駒の指定がありませんが、持駒は「なし」でも「無制限」でも解は変わらないはずです。

また、かねてよりお知らせしていた通り次回のWFP作品展は1回お休みです。解答の方の締め切りは変わりませんが、投稿の方は7月の作品展での出題となりますので、あらかじめご承知おきください。

## 解答要項

解答締切：2011年6月15日（水）

宛先：janacek789@ybb.ne.jp

メールの件名に「解答」の語句を入れて下さい。

## 作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。（原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。）

宛先は解答と同じjanacek789@ybb.ne.jpへ。

メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。

## ルール説明

【協力千日手】先後協力して最短手数で初形に戻す。

【協力自玉詰】先後協力して最短手数で攻方の玉を詰ます。

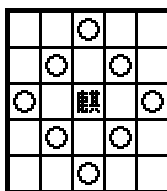
【強欲】駒を取る手があればそれを優先する。

【打歩】打歩詰以外の詰は反則

【協力詰】先後協力して最短手数で受方の玉を詰ます。

【麒麟】（麒）

中将棋の駒で、斜めと1間跳んだ前後左右に利く。



(○が麒麟の利き)

【成禁】手順中に駒を成る手があってはならない。

### ■ 33-1 神無太郎氏作

#### a) 協力千日手 16手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一									
二									
三									
四									
五									
六									
七									
八						歩	香	飛	
九							王		

持駒 なし



推理将棋第44回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第44回出題です。はじめての方は

[http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post\\_53f2.html](http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をご覧ください。

解答、感想はメールで2011年5月20日までにTETSUまで (omochabako@nifty.com) メール

の題名は「推理将棋第44回解答」でお願いします。

推理将棋第44回出題 担当 DD++

「推理将棋って7手未満がないのがハードル高いよね」という声にお応えして、今月から試しにこんなことを始めます。9手詰手順の6手目までを明かし、残り3手を答えてもらう練習問題を毎月1問出題します。本出題ではないので、出題時に記事最下部でそのまま解答と簡単な解説も行います。

本出題は、最近頻繁に問題を投稿して下さるKGさんの特集です。初級は今ではめっきり見なくなった7手詰問題。7手詰は全29通りが解析されてはいますが、そのリスト無しに「この条件でこれ以外ないの？」と問われたらあなたはどうか答えますか？中上級は打歩詰をテーマにしたツイン作品。条件も綺麗な対比条件、手順も面白く、初投稿とは思えない非常に技巧的な作品です。

■練習問題

「さっきの将棋、▲56歩△52玉▲55歩△51金左▲54歩△62玉まで見てたけどどうなった？」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの3手は分かるよね」

さて、残りの3手はどんな手だったでしょうか。

推理将棋練習問題44 (6手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	金		銀	桂	香	一
	飛		王				馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
				歩					四
									五
									六
歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒なし

44-1 初級 KGさん作

実際には指さなかった手 7手

推理将棋の館にある7手詰めリストのカンニングなしでの挑戦をどうぞ。

44-2 中級 KGさん作

打歩詰を知らない二人(A) 11手

打歩詰が禁手じゃなくても、もちろん二歩は禁手ですよ。

44-3 上級 KGさん作

打歩詰を知らない二人(B) 11手

初手に攻方玉を動かすのは異質。この条件をどう考えますか？

■締め切り前ヒント (5月16日 DD++)

それでは締め切り前ヒントです。

初級：もう1枚の攻め駒を5手目に入手するのは至難。素直に3手目に角を入手しましょう。  
中級：先手は歩の他に銀も打ちます。トドメは53歩。

上級：馬と歩の2枚のみの詰め上がりです。トドメは63歩。

44-1 初級 KGさん作

実際には指さなかった手 7手

「昨日隣でやってた将棋見たかい？」

「ああ見たよ。確か7手で後手が詰まされてたね」

「先手は5手目に銀を取りながら駒を成る手を指すことができたけど」

実際にはその手は指さなかったね。それが勝因かな」

「後手は6手目に同銀と指すことができたけど実際にはその手は指さなかったね。それが敗因かな」

さて、二人の見た将棋はどういう将棋だったでしょうか？

(条件)

- ・ 7手で詰んだ
- ・ 先手は5手目に銀を取りながら駒を成る手を指すことができたが、その手は指さなかった
- ・ 後手は6手目に同銀と指すことができたが、その手は指さなかった

44・2 中級 KGさん作  
打歩詰を知らない二人(A) 11手

A君「さっき隣でやってた将棋見たかい？」  
B君「ああ、11手目に指した手が打ち歩詰めだったやつだね」

A君「そうそう。どうやら二人とも打ち歩詰めが禁じ手だって知らなかったみたいだね」

B君「つまり打ち歩詰めは禁じ手ではないが、それ以外は通常の指し将棋と同じルールで二人とも対局していたってことだね」

A君「そして、11手目に持ち駒の歩を打って相手玉を詰ませて終局したわけだ」

B君「そういうことだね」

A君「確か、1手目と2手目は玉の手だったね」

B君「それから、3手目と4手目は歩の手だったよ」

A君「そうそう、7手目は不成の手だったよね」

B君「えっ？7手目は駒を成る手じゃなかったっけ？」

どうやら、A君とB君は両隣の全く別手順の将棋を見ていたようです。二人の見ていた将棋はそれぞれどういう将棋だったのでしょうか。

(共通条件)

- ・ 11手目に打歩詰になった
- ・ 1手目と2手目は玉の手
- ・ 3手目と4手目は歩の手

(A君の見た将棋)

- ・ 7手目は不成の手

44・3 上級 KGさん作  
打歩詰を知らない二人(B) 11手

中級と同じ会話

(共通条件)

- ・ 11手目に打歩詰になった
- ・ 1手目と2手目は玉の手
- ・ 3手目と4手目は歩の手

(B君の見た将棋)

- ・ 7手目は成の手

■練習問題解答

問題以下、▲58飛△72飛▲53歩成まで。攻撃は飛を回って歩成くらいしかないとして、8手目の△72飛が、玉方がわざわざ自分の首を絞める推理将棋らしいおバカな一手。飛先の歩成は推理将棋の基本的な詰め上がりの1つです。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	
二			飛	玉			角			
三	歩	歩	歩	歩	と	歩	歩	歩	歩	
四										
五										
六										
七	歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	
八		角			飛					
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

# 第 31 回 WFP 作品展 結果

担当：神無七郎

今回の解答は 5 名。筆者が担当してからは初解答となる神無太郎氏や変寝夢氏も解答を戴き、何はともあれ前回より 1 名増でした。

解答はほぼ前半 4 題に集中。残念ながら全題正解者はいらっしゃいませんでした。まず各題ごとの解答成績をまとめておきましょう。

〔解答成績〕（敬称略）○：正解 -：無解

	1	2	3	4	5	6	7	8
たくぼん	○	○	○	○	○	○	○	-
小峰	○	○	○	○	-	○	-	-
神無太郎	○	○	○	○	-	-	-	-
雲海	○	○	○	○	-	-	-	-
変寝夢	○	○	○	○	-	-	-	-

後半の「取禁」特集はたくぼんさんが頑張ってくださいましたが、33-5で作者以外の解答はゼロ、33-8も解答ゼロとなってしまいました。この月は他の出題の解答締切も重なっていましたし、致し方なかったでしょうか。

## ■ 32-1 雲海氏作（正解 5 名）

背面協力詰 5 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							角		八
							角	王	九

持駒 なし

### 【ルール】

#### 背面

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入り替わる。

#### 協力詰

先後協力して最短手数で受方の王を詰める。

### 【解答】

28 角 29 桂 同角 28 玉 27 桂 まで 5 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
								桂	七
								王	八
								角	九

持駒 なし

### 【作者のコメント】

最近のネット上のフェアリー作品は、解図を行うと疲れる作が多い気がしましたので（自作もそうですが）、易しいやつも必要だと勝手に思い込んでの投稿です。

手順はとても簡単。でも新味はなし・・・。初形が対称形の姉妹作という点以外に特徴は無いです。

### 【解説】

本作と次作は姉妹作。共に玉から一つ間を置いて 2 枚の角が並んでいる形です。WFP 作品展で入門者向けの作品が少ないことを案じた雲海氏が気を利かせて送ってくれた作品なので、解説もルールの「特徴」や「手筋」を中心に行いましょう。

まず、本作で注目すべきは 2 手目 29 桂です。これには「背面」の重要な特徴が端的に表れています。

### 《特徴》背面では行き所のない駒はない

性能変化系のルールでは一般的に「性能変化によって動ける可能性がある駒は行き所のない駒ではない」として扱われます。「背面」ではどんな駒でも、その背面に後退できる駒を打てば動けるようになるので、どこに何の駒があっても構いません。特定の条件下（使用駒の制限等）で現実には動ける可能性がない作品でもこの規則はそのまま適用されます。（これ以外の扱いをする場合には、その都度扱い方を明示します。）

なお、これが「対面」だと一段目の桂香歩はその前面に駒を打って性能変化させることは不

可能なので、「一段目の桂香歩は禁止」となります。性能変化系のルールでは各ルールに応じた「行き所のない駒」に常に注意を払ってください。

次の注目は3手目 29 同角。性能変化の種駒を払って元の利きに戻しての王手です。これは「王手する駒と動く駒が異なる」という点で「開き王手」と同じ性質を持ちます。

### 《手筋》背駒外し

普通詰将棋では開き王手を上手く使った名作が多々ありますが、性能変化の原因を断つ手を上手く使えば、フェアリーでの名作が生まれるかもしれません。

そして最後は詰上り。詰上り「1」の綺麗な形ですが、この局面は 29 角がなくても詰んでいます。「対面」では「8段目の玉に桂対」といういわゆる玉頭桂の詰上りがポピュラーですが、「背面」では「8・9段目の玉に桂背」が極めて有効な手段です。

### 《手筋》玉背桂

桂以外にも「9段目の玉に香背」でも詰むので、香もとどめの駒としては強力です。もちろん「9段目の玉に歩背」でも詰みますが、歩の場合は打歩詰を避けなければいけないので、人工的な仕掛けが施されていない局面で、自然にこの手が現われることは稀です。

### 【短評】

#### 小峰さん

背面のルール説明に丁度良い作品。

#### たくぼんさん

背面は暗算で全然解けない。  
まだ感覚がなれていない。

#### 変寝夢さん

対面より背面の方が考えやすいかも。

☆たくぼんさんと、変寝夢さんの感想が逆なのが面白いですね。作る側から言うと、背面は対面よりバリエーションが豊富な気がします。将棋の駒は後ろに利く駒が限られる分、詰めるパターンが増えるので、いろいろと珍しい手筋がありそうに思います。

## ■ 32-2 雲海氏作（正解5名）

### 背面協力詰5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
							角	角	六
									七
								王	八
									九

持駒 なし

### 【解答】

28 角 29 金 37 角 28 銀 18 角 まで5手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
							角		六
							銀	角	七
							金	王	八
									九

持駒 なし

### 【解説】

こちらは前局より考えどころがあり、解答者からも好評でした。初手 18 角で玉を大ジャンプする紛れが強力ですが、作意は逆に合駒・背駒でジャンプ台への出口を封鎖します。

これもまた手筋教室的に見ていきましょう。

### 《手筋》端玉には玉背角

前局のとどめは桂でしたが、本局のとどめは角です。角は一般的には強力な駒ですが、盤の隅にいる角は1箇所を封鎖すれば動けなくなります。隅でなくとも盤の端なら2箇所の封鎖で角を閉じ込めることができます。桂や香ほどではないにしても角は場合によっては弱い駒にもなるわけです。



「背面」の親戚である「対面」では上下を逆にして玉頭角で詰める作品が作られています。以下にその中の1作を紹介しますので、未見の方は解いてみてください。

(参考)

佐々木浩之／詰将棋パラダイス／1985年3月

対面詰7手

				角	王			一
		歩		科	王		角	二
					歩	歩	科	三
			歩					四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 柱

(解答は結果稿の最後に掲載します)

さて、「背面」では「対面」と上下が逆で玉背角をとどめに使うわけですが、角に変身した玉を閉じ込めるために、脱出防止駒を発生させる必要があります。それが初手から4手目までの一連の手順です。

《手筋》角に金背

中でも重要なのが2手目の29金。王手を消しながら角の斜めの利きを維持することができる何とも虫の良い手です。これは金が上下非対称の利きを持つために成立するもので、「対面」でも角頭金の形でよく出現します。特に玉と角が近接しているときに起きやすいので、これは「よくある形」として覚えてしましましょう。

4手目28銀は角の斜め利きを維持する好手。角2枚を使い切っているため銀に限定されています。性能変化系ルールでは性能を大きく変える手に興味が向きがちですが、性能をなるべく維持する手を中心に表現するような演出も見てみたいですね。

【短評】

小峰さん

背駒がうまい具合に完全限定。こちらは少々頭を使う。

神無太郎さん

これはいい。

たくぼんさん

金打、銀合と簡素ながら見所は多い。

変寝夢さん

3手目18角寄は、91玉、81角成で82背駒で詰まない事になかなか気づかなかった。

■ 32-3 神無七郎作 (※2解) (正解5名)

非連続王手協力詰3手

								王	一
				飛		進			二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒なし

受方持駒なし

【ルール】

非連続王手：攻方に王手の義務がない。(王手をしても良い)。

【解答】

32 飛生 21 玉 31 飛打 まで3手

(詰上り)

								飛 王	一
								飛	二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒なし

42 飛成 12 飛 31 龍 まで 3手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						龍		王	一
								飛	二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

一応「成と不成、不取と取の対比」の2解物の体裁をとっていますが、現実には初手不成の方の解が主で、成の解は付け足しです。

初手飛不成は打歩詰には無関係で、ステイルメイトにしないための不成です。指し将棋なら目的が「勝ち」なので終局が「詰」でも「ステイルメイト」でも同じなのですが、詰将棋では目的が「詰」なので、「ステイルメイト」の終局は避けなければいけません。これを利用して、打歩に関係のない飛角歩の不成を実現するわけです。

また、本作は「協力詰」のルール下で作成していますが、協力系ではなく対抗系のルールで作ることも可能です。以下の図をご覧ください。

(参考図)

非連続王手詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
と	と	と	と	と	と	と	と	角	一
と	香	飛	金	金	金	金	歩	王	二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		角	三
銀	銀	桂	銀	飛	銀	桂		歩	四
桂	桂	香		香		香			五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

24 角生 23 玉 13 角成 まで 3手

非連続王手対抗系のルール下であれば、「不成」に限らず「ステイルメイト逃れ」を巡る攻防を取り入れた作も創作可能でしょう。特に双玉が狙い目で、チェスのエンドゲームのような駆け引きを表現することも不可能ではないと思います。

【短評】

小峰さん

「取らない成」と「取る不成」。

2解問題としては最低限の対比は出来ている。

神無太郎さん

3手で妙味のある明快な対比は難しいですかねえ。

雲海さん

双方持駒なしのためか、2解ともチェスっぽい手順ですね。

このルールは余詰が非常に厳しいから、森氏の作品のような駒の入れ替えをテーマとしたものを除けば、今作のように横に広がる作が相性がいいのでしょうか。

もしそうだとしたら、チェスと同じなので少々つまらないのですが。

☆たとえチェスプロブレムと同じでも、それが面白いと思ったらやってみる価値はあると思います。ただ、私自身はチェスプロブレムのパターンプレイの類には興味を持っていません。何か別の方向での発展性が見つかればと思っています。非王手系ルールでは、どちらかと言えば協力系より対抗系の方が面白い作品ができそうな気がするのですが、もう少し研究してみないと何とも言えません。

たくぼんさん

飛並びと合利かずはさすがに一目。

こういうので新しい人を呼び込みたいですねえ。

変寝夢さん

(初手生の解について) 最終手打が漏れそう

(初手成の解について) 予想どおり単騎詰かなりプロブレムっぽいような・・・そうではないような。

■ 32-4 神無七郎作 (正解5名)

非連続王手協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
						王			七
									八
								王	九

持駒 なし

【解答】

28 王 37 角 同王 58 玉 93 角 49 玉 48 角成 まで 7手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
						王			七
					馬				八
					王				九

持駒 なし

【解説】

持駒のない双裸玉。

このルールだと合駒以外でも駒の入手が可能なので、持駒のない双裸玉の最長手数に挑戦してみました。実際に作ってみると余詰防ぎが難しく、本作のような7手詰でさえ、ちょっと配置を変えるだけで余詰が出ます。

どなたか9手以上の双裸玉に挑戦してみてください。

【短評】

小峰さん

詰む形がこれくらいなのでそれほど難しくはないが、93 角～57 成～39 飛迄の例の5手詰を連想させてくれる。

神無太郎さん

うまく手順限定できてはいるが。

雲海さん

こちらは将棋っぽい手順だと感じますね。

たくぼんさん

何も無いところから詰むのが不思議な味ですね。

変寝夢さん

フェアリーの王道の一つ相裸玉(勝手に思っているだけ)。

王と玉の軌跡の対称性が心に残った。

☆実は王と玉の軌跡は逆方向ではなく同方向にしたかったのですが、余詰でした。

例えば 19 王→55 王とすると、角ではなく飛を入手して簡単に詰みます。王と玉が近いと特にダメですね。

■ 32-5 たくぼん氏作 (正解1名)

対面全取禁協力詰 11手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 銀

【ルール】

対面

敵駒と向かい合ったとき、互いに利きが入れ替わる。

全取禁

駒を取る手は禁手。詰み等の概念も駒を取れないことを前提とする。

【解答】

18 銀 28 玉 17 銀 16 飛 19 銀 29 玉 18 銀 19 玉 17 銀 27 飛成 28 銀 まで 11手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
							銀		七
							銀		八
								王	九

持駒 なし

【作者のコメント】

銀の動きがなかなか面白いかも

【解説】

全取禁の性質を利用して、裸玉を銀1枚で詰ませる作。出題時はそれほど難しくないかと思ったのですが、作者以外の解答者はゼロという少々残念な結果になりました。

銀1枚で詰ませる一番簡単な方法は、玉を下段に落として玉頭に成銀を載せることですが、あいにく入玉型なので、そんな余裕はありません。となれば、銀に飛対を発生させてそれを利用する筋が有力ですが、飛を成らせる詰型の想定や初手 38 銀ではなく 18 銀から入る（38 銀から入ると盤端の「壁」を利用できない）逆筋的な導入部が難しく、それが無解の主原因になったのではないかと想像します。

この作を受け取った後、対面全取禁で「裸玉+銀1枚」の絨毯爆撃を行ってみました。ごく小規模の調査ですので、以下に全完全作リストを紹介します。

対面全取禁協力詰：

裸玉、持駒銀1枚の全完全作リスト

- 対面全取禁協力詰 + 銀, 11 玉 #3
- 22 銀 21 飛 12 銀成 まで 3手
- 対面全取禁協力詰 + 銀, 14 玉 #5
- 23 銀 22 飛 25 銀成 23 玉 24 全 まで 5手
- 対面全取禁協力詰 + 銀, 15 玉 #7
- 24 銀 14 玉 23 銀生 22 飛 25 銀成 23 玉 24 全 まで 7手
- 対面全取禁協力詰 + 銀, 16 玉 #9
- 25 銀 15 玉 24 銀 14 玉 23 銀生 22 飛

25 銀成 23 玉 24 全 まで 9手

対面全取禁協力詰 + 銀, 28 玉 #9

17 銀 16 飛 19 銀 29 玉 18 銀 19 玉 17 銀 27 飛成 28 銀 まで 9手

対面全取禁協力詰 + 銀, 29 玉 #11

18 銀 28 玉 17 銀 16 飛 19 銀 29 玉 18 銀 19 玉 17 銀 27 飛成 28 銀 まで 11手

対面全取禁協力詰 + 銀, 51 玉 #3

42 銀 41 飛 52 銀成 まで 3手

対面全取禁協力詰 + 銀, 54 玉 #5

43 銀 42 飛 45 銀成 43 玉 44 全 まで 5手

やはり「頭金」ならぬ「頭全」で詰む作が多いですね。16 玉型の9手詰などは手順中に不成と成の両方が出て詰上り「1」となるので、これもなかなか面白いと思いますが、本作の銀が1筋を縦に往復する手順はこれらリスト中でも特異で、やはり一番面白いと思います。

取禁系のルールは詰みにくいので、協力詰でかなり粘り強い手順を生み出す可能性があります。性能変化系のルールと組み合わせることで何が出てくるか楽しみですね。

■ 32-6 神無七郎作 (正解2名)

対面取禁協力詰 25手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								銀	銀	一
									王	二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂

【ルール】

取禁

手順中に駒を取る手があってはならない。詰み等の概念は通常通り。

【解答】

- 24 桂 22 玉 12 桂生 33 玉 22 桂生 34 玉
- 12 桂生 44 玉 22 桂生 45 玉 12 桂生 55 玉 22 桂生 56 玉 12 桂生 66 玉 22 桂生

67 玉 12 桂生 77 玉 22 桂生 78 玉 12 桂生 88 玉 89 桂生 まで 25 手

(詰上り)

										玉	桂	一
												二
												三
												四
												五
												六
												七
												八
										玉	桂	九

持駒 なし

【解説】

ここから3問は「攻方の駒は持駒桂1枚のみ」のシリーズ物です。持駒が増えないこのルール下で桂が1枚というのは詰む状況がかなり限られます。しかも桂が成ると金輪際詰まないの、生桂のまま手順を進めなくてはいけません。桂を都合の良い場所に移動するには、それなりの手順を尽くさねばならず、工夫次第でかなり複雑な作品が作れる可能性があるわけです。

ただ本作はとても単純です。詰上りは「8段目の玉の頭に桂」という、対面の基礎の基礎の形ですし、玉をそこへ運ぶ手段も単純な玉鋸です。初形に配置した馬2枚の配置が鋸引趣向を暗示していますよね。

本作では詰上りで玉のジャンプ先を埋める駒の枚数が0枚なのですが、この後、埋める駒の枚数が1枚ずつ順に増えていきます。そして難度も上がっていきます。まずはウォーミングアップのつもりだった本作ですが解答者が2名のみというのは少し意外でした。

【短評】

小峰さん

「取り」関係のフェアリールールを使うと、かなり簡単な装置で趣向手順が成立する事がありますが、本局もその一例。

☆確かに。「強欲」「禁欲」のように近年急速に開発が進んだ例もありますし、「取り」関係のルールは今後も有望な鉱脈だと思います。

たくぼんさん

これ何鋸っていうんでしょう？  
分かりやすくていいですね。

■ 32-7 神無七郎作 (正解1名)

対面取禁協力詰 21手

												一
												二
												三
												四
												五
												六
												七
												八
												九

持駒 桂

【解答】

64 桂 63 飛 44 桂 53 玉 52 桂生 64 玉  
56 桂生 55 飛 76 桂 65 玉 64 桂 76 玉  
68 桂 67 飛生 88 桂 87 飛生 68 桂 86 玉  
56 桂 95 玉 96 桂 まで 21 手

(詰上り)

												一
												二
												三
												四
												五
												六
												七
												八
												九

持駒 なし

【解説】

飛2枚が置いてあるので、一見すると前局と同様に玉鋸を行う作品と思えるかもしれませんが、しかし、少し考えると前局とは違い「8段目の玉の頭に桂」の詰上りを作れないことが分かります。単純な玉鋸では詰まないのです。

一工夫すると本作の手順に見られるような飛と桂が組になって上昇する趣向を発見できるとは思いますが、これもただ単に上に移動するだけでは、やはり詰みません。

12 手目 56 玉ではなく 76 玉とするのが局

面を打開する好手で、これで玉を追う方向を縦から横に変更して詰めることができます。初形配置が不自然に左に寄っていたのは、この詰上りを可能にするためだったのです。

本局では8段目に行かない代わりに、玉を盤の端に寄せ、ジャンプ先を塞ぐ駒として飛を1枚使いました。そのために趣向に破調が生じており、やや難解になっているかもしれません。正解者はたくぼんさんお一人でした。

【短評】

たくぼんさん

こちらは途中で方向転換。ちょっと手が止まりました。

☆たくぼんさんはちょっと手が止まっただけでしたか。やはりさすがの解図力です。

☆ついでに参考図を。前半に玉鋸を加えて往復型にしたものですが、方向転換用に銀1枚の追加が必要となってしまいました。この追加のせいでこの案自体はボツになったのですが、これが次局の発想の元となりました。

(参考図) 序に玉鋸を付け加えたもの

対面取禁協力詰 37手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			飛	飛					一
					銀				二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
				玉					九

持駒 桂

52 桂 68 玉 62 桂生 57 玉 52 桂生 66 玉  
62 桂生 55 玉 52 桂生 64 玉 62 桂生 53 玉  
65 桂生 64 飛 45 桂 42 玉 33 桂生 43 玉  
44 桂生 55 玉 52 桂生 65 玉 57 桂生 56 飛  
77 桂 66 玉 65 桂 77 玉 69 桂 68 飛生  
89 桂 88 飛生 69 桂 87 玉 57 桂 96 玉  
97 桂 まで 37手

■ 32-8 神無七郎作 (正解者なし)

対面取禁協力詰 53手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			銀	角	玉	飛	龍		一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂

【解答】

52 桂 42 玉 34 桂生 33 飛 54 桂 53 飛  
34 桂 52 玉 22 桂生 63 玉 52 桂生 62 玉  
74 桂生 73 飛 54 桂 52 玉 62 桂生 43 玉  
52 桂生 33 玉 34 桂生 25 玉 22 桂生 34  
玉 52 桂生 43 金 74 桂生 33 玉 34 桂 25  
玉 22 桂生 35 玉 62 桂生 34 玉 44 桂生  
55 金 52 桂生 43 金 74 桂生 33 玉 34 桂  
25 玉 22 桂生 35 玉 62 桂生 34 玉 44 桂  
生 35 金 52 桂生 44 玉 74 桂生 43 玉 44  
桂まで 53手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			角	馬			龍		一
									二
		飛		玉					三
				桂					四
			金		金				五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

今度は盤の下段の壁も、端の壁も利用せず、ジャンプ先を2箇所とも埋める詰上りです。

実は最初からこれを狙って創作を始めたわけではなく、前局の参考図を発展させて、飛角を利用した「三角跳び」型の趣向手順を目指して作り始めたものです。

試行錯誤を繰り返すうちに、ジャンプ先を埋める駒を対駒で発生させることができ、その発生順も自然に限定できてしまいました。35金を先にしてしまうと55金発生の邪魔になるので、順序が限定されているわけですが、作者が意図せずにこんな手順が成立したのには不思議です。

ついでに初形も「一」の字にでき、長く創作を続けているとこんな幸運に恵まれることもあるんだなあ、と思いました。

### 【短評】

#### たくぼんさん（無解）

32-6、32-7の考え方ではいけないのかも知れません。解けません。

☆一応、32-6、32-7の延長ではあったのですが、趣向自体も複雑で、詰上りの想定も難しかったと思います。難問にもかかわらず、果敢に挑戦して戴いてありがとうございました。

### 【総評等】

#### 雲海さん

後半4題は解く時間がありませんでした・・・

☆先月はかなりハードスケジュールだったと思います。フェアリーだけでも、本作品展と「Fairy of the Forest#27」、「第10回詰四会フェアリー作品展」、「がんばろう日本！祈念作品展」が重なっていましたからね。筆者自身も先月号は無解をいくつか出してしまいました。

#### たくぼんさん

非連続王手協力詰はなかなか面白いものが出来そうな感じがしますので取り組んでみたいですね。

☆期待しています。NoCheck5.exeも機能追加（局面表の保存機能追加）の作業をしていますので、今より少しは創作のお役に立てるようになるかと思います。

参考図（佐々木浩之氏作）の解答

21 角生 41 玉 53 桂 51 玉 43 角生 53 桂  
52 角生 まで7手

## 推理将棋第 43 回出題

出題日 : 2011 年 4 月 3 日

解答締切 : 2011 年 4 月 20 日

### 推理将棋第 43 回解説 担当 DD++

初担当で、とある目的から自作を出して余詰む始末。ご迷惑をおかけしました。やっぱり自作は他人の目を通らないだけに危険度が高いことを認識させられました。とほほ・・・。

#### 4 3 - 1 初級 ○術師さん作

三吉超え

9 手

「坂田三吉を超えたね」

「最初から 4 手目まで端だったからね」

「坂田三吉の将棋に不成はあったっけ？」

「少なくとも我々の将棋にはなかったね」

「9 手で詰んだ将棋は坂田三吉と言えどもなかったらうな」

さてどんな将棋だったのだろうか。

(条件)

- ・ 9 手で詰んだ
- ・ 初手～4 手目は端の着手だった
- ・ 不成はなかった

#### 出題のことば (担当 DD++)

端を 2 手ずつ指して有効そうな手といえば、かなり限られます。

#### 追加ヒント :

5 手目からは飛車も使って中央への大駒集中砲火です。

#### 推理将棋 4 3 - 1 解答

▲ 9 六歩、▽ 1 四歩、▲ 9 七角、▽ 1 三角、▲ 5 八飛、▽ 5 七角成、▲ 同 飛、▽ 5 二玉、▲ 5 三飛成 まで 9 手。

#### 詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	
二		飛			王					
三	歩	歩	歩	歩	龍	歩	歩	歩		
四									歩	
五										
六	歩									
七	角	歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	
八										
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 角歩

いきなり 4 手端の手を要求されるという問題。本当にそんな事でたった 9 手で詰むのでしょうか。

初形から端の手を 2 回指す方法はいろいろありますが、それで「9 手で詰んだ」に向かうには「96 歩～97 角」くらいしかなさそうです。そんな時は、ひとまずその通りに指してみても、局面全体を眺めてみましょう。

今回は 2 枚の角の利きをよく確認してみると、互いに 5 筋の敵歩を狙っていることがわかり、急に 5 筋がきな臭くなってきます。これに気づけばしめたもの。58 飛と回って大砲をド真ん中にぶちかますだけです。わざわざ詰まされに出て行く 52 玉も推理将棋らしい一手ですね。

ところでこの問題ですが、ほとんど同じ手順がおもちゃ箱で一度出題されていることに気づいた方はいらっしゃるでしょうか。はらたっとさん作の「18-2 どっちの成りでショー」が、先手が「76 歩～44 角」の形であるものの、ほとんど同じ手順、ほとんど同じ詰上がりなのです。しかし両者の条件を比較すると全く異なる問題であることがお分かりいただけるでしょう。こ



れぞまさに「手順が同じでも条件が違えば別作品」の典型例ということで手順重複を承知で選題させていただきました。

今後、特に一桁手数作品では「手順は見たことあるけど条件だけ見てもそれを全然想起させない」作品は何食わぬ顔で平然と採用していきますので、よろしくお願ひします。というか、そうしないともう一桁物は何も出題できなくなってしまうので(汗)

それではみなさんの短評をどうぞ。

**斧間徳子** 「有効そうな端の4手は端角のぞきくらいしかなく、そうするとその後の展開はすぐにわかる。本問のみはほぼ瞬殺でした。」

■前回タラパパさんが言っていました。初級のコーディネートはこうでねえと。

**チャンプ** 「後出しジャンケンみたいな勝ち方ですね(笑)」

■言われてみればたしかに。

**鈴川優希** 「初級なのになぜかこれが一番悩みました……。なるほど、5三に成るのは角ではなく飛なのですね。」

■53角成の場合51を1手で塞ぐ方法がないんですよ。この52玉に53龍の詰め上がりも頻出なので覚えておいていただきたいところ。

**NAO** 「1手で中央突破できるアノ手があった！予備知識があり助かりました。」

■飛車が5筋突破できると他へまわす手数が増えてお得ですよ。

**KG** 「意外と手間取ってしまいました。先手飛車を使うとは」

■自飛車は出動に時間がかかりますから、盲点に入りやすかったかもしれません。

**宮谷保可楽** 「端の手を指し終えたあと、援軍をどうするのか考えこんだ。飛車が手っ取り早かった。」

■飛車は飛び道具ですから、出陣さえできればとても早いのです。

**タラパパ** 「不成なしが、限定ばかりでなく、余詰消しにも役立つ一石二鳥条件でした。」

■こういう条件付けはうまいですよ。ベテランの味。

**中村雅哉** 「定番の攻め方。」

■出題コメントに書いたように今回は知っておきたい定番手順を並べてみました。

**S.Kimura** 「後手と同じように先手も角を成ると勘違いして慌てましたが、割と速く解けたので、幸先が良かったのですが・・・」

■角成だと51が埋まらなくて困るのです。

**渡辺** 「知っているからピンと来たものの知らなければ53角生、62(42)角生、53銀の筋から抜けるのが難しいのでは?」

■なぜ後手の角も動いたのか?を考えれば、きつともう一つの可能性にも気づけるはず。

**リーグ戦ファン** 「これはダイナミック。『不成なし』が57角成限定の他に、余詰を防いでいるので、▽57角成が見えにくくなっています。」

■この手順、9手詰の中でダイナミックさでは3本の指に入ります。

**はなさかしろう** 「シンプルでわかりやすい序盤からぴったりの手順の後半へ。良い感じですよ。」

■前半と後半が分けて考えられるので考えやすいのもポイントです。

**はらたつと** 「自分で過去考えたことある問題だったのですぐわかりました(^\_^)v」

■上で触れたとおりの手順だけみればはらたつとさんの前例がある手順ですしね(^\_^)

たくぼん 「懐かしい感じがします。坂田三吉なら初手は96歩ですね」

■タイトルが初手のヒントでした。そうでなくても、どう見ても96歩しかなさそうですが(笑)

みや 「初級しか解けませんでした(><) 解答発表までのあいだ、中級、上級にチャレンジします！」

■1題だけでも解答して下さる方は本当にありがたいです。中上級はあることに気づくかどうかで大きく難度が変わります。答えを見ればきっとみやさんのレベルアップにつながるはず。

高坂研 「大駒の大きな動きが楽しめる。4手目まで同形にするのに心理的抵抗があったのは私だけか？」

■短評をみるかぎり高坂さんだけだったようです。

はてるま 「ダイナミックな構図で爽快な手順。不成なしは5手目から53角生、52玉以下の順を消したものですね。」

■53角生、42/62銀以下も消してますね。53銀までの手順は怖いです。

正解：20名

S.Kimura さん 斧間徳子さん KG さん  
高坂研さん 鈴川優希さん 諏訪冬葉さん  
占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん  
チャンプさん 躑躅さん NAOさん  
中村雅哉さん はてるまさん  
はなさかしろうさん はらたつとさん  
みやさん 宮谷保可楽さん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

4 3-2 中級 はなさかしろうさん作  
同飛成まで 9手

「さっきの将棋、あつという間だったね」

「うん。9手で同飛成まで、だったね」  
「4手目の銀がどうかとは思ってたけどな」

さてどんな将棋だったのだろうか。

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 9手目は同飛成
- ・ 4手目は銀の手

出題のこぼ (担当 DD++)

5手目に飛を取れるのは4箇所。さあどこで取りましょう。

追加ヒント:

トドメは72同飛成。角と協力してうまく詰ませましょう。

推理将棋 4 3-2 解答 担当 DD++

▲7六歩、▽4二飛、▲3三角不成、▽8二銀、▲4二角不成、▽5二玉、▲7一飛、▽7二金、▲同飛成 まで9手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	将			王	将	将	皇		一
	将	龍		王	角		銀		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 金歩

今回の選題は全てそうなのですが、これもやはり手順自体はベテランの方には見慣れた手順ではないでしょうか。なぜかわかりませんがこの手順はほとんどの作家が一度条件付けてみる

手順のようで、私も例に漏れずこの手順を自力で見つけて条件付けをした過去があります。この「72 同飛成現象」は推理将棋の七不思議の1つといっても過言ではないかもしれません。

という冗談はおいといて、解図してみましょう。

先手飛の出動は苦しいとして、ならば後手飛を取って打つわけですが、最終手に飛成ということは、逆算して7手目に飛車を打つ、さらに逆算して5手目には飛車を取らねばなりません。それが可能なのは、82、62、42、32、の4箇所です。

このうち、62はそもそも4手目銀条件が満たせません。82は「76歩、74歩、55角、62玉、82角成、51金右、73飛、72銀、同飛成」という順がありますが、72銀を4手目に持っていくと最後が同飛成でなくなってしまうのでボツ。32で飛を取るには4手目銀では「76歩、32飛、33角成、42銀、32馬」しかなく、ここから4手で同飛成までで詰ますのは明らかに不可能。

ということは残るは5手目に42で飛を取り、7手目に飛を打ち、9手目同飛成の順しかありません。5手目以降角は動かないのですから角か馬がいる位置は42のまま。さてもう1枚龍を置いて詰む場所は？。51龍や52龍が目につきませんが、答えはヒントにも書いたようになんと72龍。

推理将棋は詰将棋と異なり、玉方の持ち駒は何もない状態からスタートします。そのせいで、飛び道具での王手に逃げることも合駒することもできずに詰み、という場面が当たり前のように出てきます。今回もその1つの形で、72からの龍の王手に対して62に合駒するものがないので、こんな形でも詰みなのです。合い効かずは本当に頻出なので、是非とも感覚として身につけておいてください。

それではみなさんの短評をどうぞ。

斧間徳子 「濃密な手順も簡潔な条件付けも申し分のない傑作。」

■条件が覚えやすい作品はやはりいいですよ。

チャンプ 「これが一番難しかったです。作者の立場からの裏読みまでしてようやく解答に辿り着きました。

・飛車を取る場所が32の場合、この条件だと4手目が42銀に限られ、こんな面白くない条件付けをするはずがないのでパス。

・飛車を取る場所が82の場合、この条件だと不成りとする意味が無い(玉が72まで行けない)ので成る等の条件がない限りこれはない。

・飛車を取る場所が42の場合、この条件だと42角成は33角不成～でも可能なので33角不成～42角不成が確定。作るとしたらこの順(笑)」

■裏読みはよくありますが、「作るとしたらこの順」まで読みますか(笑)

鈴川優希 「この手順を知っていたので解けましたが、そうじゃなければかなり苦戦していたと思います。4手目銀の条件で手順前後が消えているのがいいですね。」

■やっぱりこの手順は不思議なくらい有名なんですよ。やっぱり七不思議の1つだと思いません。

NAO 「金銀の守りが強力。4手目のそっぽ銀で解決。」

■私もそう思っていました、「同飛成まで」だけだと10通り弱のパターンがあるようです。最後に1枚取らせることができるので意外ともろいんですね。

KG 「『5手目に飛を取れるのは～』というヒントがあったので案外すんなりと解けました。このヒントが無ければ先手飛車を使う筋を最初に探してたと思います。」

■中級だけはコメントでちょっとヒントを出してみたのが功を奏したようで何よりです(^^)

宮谷保可楽 「これは詰上がり勝負。龍角で挟み撃ちにするための82銀～72金。」

■たしかに詰め上がり勝負。合い効かずを知ってもらうための選題でした。

**タラパパ** 「この詰み形を知らなければ途方に暮れそう。難局だと思います。」

■9手の中では間違いなく難局に分類される方でしょうが、一応上記したように理詰めでありとあっさり絞れますので、もっと難局はいくらでもありそうな気がします。

**中村雅哉** 「これも有名な筋だが、何回見ても気持ちのいい手順。」

■私にとっては何回見ても本当に詰んでるのか確認してしまう手順。

**S.Kimura** 「この問題で長い間つまづいていました。ヒントの72同飛成は浮かんでいたので、82角成としていたので、4手目銀の条件のため詰みませんでした。そこで、43-3を解き、この問題でも自分が見落としそうな手（角の反対側に飛車を置く）を考えたところ、運良く答えに辿り着きました」

■答えにたどり着けたなら、それは運ではなく実力。私はそう思います。

**渡辺** 「これも知らなければギブアップしそうな問題。何人解けたのでしょうか？」

■正答率9割でした。もちろんベテランの方が混ざっているとはいえ、自力でこの手順を発見した方も少なくないようです。それに、おもちや箱だとヒントもありますね。

**リーグ戦ファン** 「推理将棋史上（あくまでも私が取り組んだ中で）一番時間のかかった作品でした・・・竜を単独で二段目に使う筋は早い時期に少し考えはしたのですが、脳内解きだったので『▽82銀』が可能であることに思い至らなかったのが敗因。自陣の飛を使うような筋の悪い方向までだいぶ考えてしまいました。この問題、『4手目が金』ならば何十も詰め上がりのあるところ、銀にただけでこの綺麗な形に限定されるのですね。さすがです。」

■そこまで難問でしたかこの問題。こっちを上級にするんだったかなあ。

**はなさかしろう** 「この詰め上がりを発見した

時は流石に先行作はあるだろうな、と思い、試みに提出がてらお尋ねしたところ、いろいろな先行作を教えてくださいました。DD++さんのコメント『なぜか皆1度は作る』はまさに至言で、この手順で採用していただけたのは光栄ながら汗顔の至りです。私も一度作問までしてしまってから、あれもこれもこの手順だったのか、と別の条件でも解けるようになりましたので、初見では難問かもしれません。詰め上がりがユニークなのであっさりといけれん味のない条件付けを心掛けました。」

■そう、なぜかみんな一度は作る七不思議。ところが、詰パラでは出題例はあるもののおもちや箱では出題例がないので採用させていただきました。私のことですから、今後も全くの別条件で知らん顔してまたこの手順を出題するかもしれません（笑）

**はらたつと** 「最初、76歩74歩55角62玉82角成51金右73飛72銀同飛成までと思ったら4手目銀？これで大はまり。」

■龍は飛び道具なので合い効かずがありうる、それに気づくかどうか勝負でした。

**たくぼん** 「ヒントが良心的。たくさん解答があるといいですね」

■今後もヒントは良心的に、かなり答えに近づけるものを出していくつもりです。

**高坂研** 「これはかの有名な、オリジナルのはてるま手筋！条件を変えて出せば、まだまだ啓蒙的価値はありますね。」

■この手順は解かせて引き込むより解答を見せつけて引き込む方に有効そうですね。こんな詰め上がり実戦じゃまずありえない形ですからそこが一番の魅力ですし。

**はてるま** 「この詰み形は私の作にもあったので、割とすぐひらめきました。本作は条件がすっかりしているのが魅力ですね。」

■やっぱりみんなが作っている七不思議。しかし条件がここまでシンプルなのはたしかに珍しいです。

▲7六歩、▽3四歩、▲2二角成、▽4四歩、  
▲同馬、▽6二飛、▲2四角、▽5二玉、▲  
3四馬 まで9手。

正解：18名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん KGさん  
高坂研さん 鈴川優希さん 諏訪冬葉さん  
占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん  
チャンプさん 躑躅さん NAOさん  
中村雅哉さん はてるまさん  
はなさかしろうさん 宮谷保可楽さん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

43-3 上級 DD++作

偶数段の攻防

9手

「よし、たった9手で詰ませたぞ」  
「負けました、玉の手か6手目の大駒が失敗だ  
ったかなあ」  
「きっと3手目の成る手がよかったんだよ」  
「そういえばこの将棋、偶数段の着手だけだっ  
たね」

さてどんな将棋だったのだろうか。

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 偶数段の着手のみだった
- ・ 3手目は成る手
- ・ 玉の手があった
- ・ 6手目は大駒

出題のこぼ (担当 DD++)

9手特集ですから上級も9手。さて、何分で  
解けますか？

追加ヒント：

成った駒はさらに5手目と9手目に動かしま  
す。2段目にこだわるとドロ沼。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	
二				飛	王					
三	歩	歩	歩	歩	歩			歩	歩	
四							馬	角		
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩2

条件を見てみなさんまず何を考えたでしょうか。  
多くの方が「76歩、34歩、22角成からあとは  
2段目の攻防かな」と考えたのではないでしょ  
うか。ところがどっこい、2段目を使って攻め  
ると、「76歩、34歩、22角成、72金、32馬、  
42金、同馬、62玉、52金」などいろいろな詰  
ませ方はあるものの、6手目に大駒が登場する  
順はありません。(ないはずでした。検討漏れが  
なければ (泣))

このように、当然こうだろう、という思い込み  
を利用して誤った思考をさせ、不可能な内容に  
思わせる手法をミスディレクションといいます。  
今回で言えば2段目攻めとは一言も謳ってない  
のに、偶数段条件と3手目の22角成で「き  
っとここから2段目攻めだろう」と思い込むよ  
うに条件を作り、その思い込みを利用して不可  
可能問題に見せる技術です。

この問題の正解は全く違うところにありました。  
まずは条件どおり22角成と踏み込みますが、  
これを一度44同馬と引いて34馬と寄ると、24  
角とあわせて平行2枚角の詰め上がりの完成。  
実は主戦場は4段目なものでした。もっとも、こ  
の詰め上がりを知っている人はこのミスディレ  
クションにあんまりひっかかってくれなかつた  
みたいですけれども。

ありがちなミスディレクションは、「王手3回」と謳っておいて実はそのうち1回は実は玉方の王手とか、「玉頭に飛車を打った」が実は攻め方玉の頭だったとか、というところでしょうか。今後もミスディレクションを利用した問題はたびたび出題することになると思いますので、怪しい条件には騙されないようにしてくださいね。

それにしてもまったく、誰でしょうね、こんなイジワルな問題を作った悪い人は。……あ、私か。

それではみなさんの短評をどうぞ。

**脚躑** 「詰上がりは想定できましたが、44歩が見えにくかったです。」

■この詰め上がりは43歩が邪魔ですから、いつか突かなければいけない歩なのです。

**斧間徳子** 「前例のある詰め筋なのですぐに解けたが、この筋を知らないと(3手目まで実質開示されているとはいえ)難問かも。」

■筋を知らなければきっと、3手目まで開示されてるからこそ難しいと思います。まさか馬が22から4段目に撤退するとは思わないでしょうから。

**チャンプ** 「作意なのかな・・・3手目が不成りでは他で余詰むんですかね?」

■3手目不成りだと元条件でも余詰みません。しかし、ここに生角がいるとどう考えても44角成とするしかなくて、ミスディレクションになってくれないんですよ。で、しかたなく成で余詰があるかどうか検討したところ見事に検討漏れしました(泣)

**鈴川優希** 「序の3手は確定で、しかも偶数段縛りがかなりきついので、すぐに解くことができました。4四歩、同馬のやりとりが洒落ていますね。余詰は、5二角以下の手順ですか?」

■この44歩、同馬をすぐに見抜くとは!余詰めはご指摘の通りです。なぜか検討でこの52角を見落としました。なんでだろう。

**NAO** 「一見平凡な44歩同馬が盲点。余詰消しの追加条件がヒントになりました。」

■2段目に踏み込んだ馬が4段目に引くとは思いませんもんねえ。これぞミスディレクションの効果。

**KG** 「玉の手があることからおそらく5一の地点を角で封じるんだろうなとは思っていましたが、2段目でちょこちょこ動かす手ばかり考えていてなかなか解答にたどり着きませんでした。」

■きれいにミスディレクションに引っかかっていただきました。KGさん、いい解答者です(笑)

**宮谷保可楽** 「これも詰上がり勝負。筋違い角2本で射抜かれた玉。」

■詰め上がりの前に4段目に馬を引く発想が出るかどうか勝負のポイントです。

**タラパパ** 「3手目まで確定とはいえ、4手目が思いつきにくい手で悩まされました。」

■なまじ3手目まで確定してるからこそ、こんな4手目は見えにくい?

**中村雅哉** 「これまた頻出の筋だが、条件付けに工夫が感じられる。」

■実は偶数段条件を先に作って、それから手順を決めてたりして。

**S.Kimura** 「43-2でつまづいていたので、この問題はヒントありでスタートしました。2段目泥沼とのことだったので、32馬の筋は早々に捨てて、4手目に44馬としました。そこで、まさかとは思いつつ、自分がしばしば見落とす、馬の横の動き(34馬)をしてみたところ、偶然にも収束が見つかりました。」

■最初からヒントありだとこの問題は中級より簡単だったでしょう(笑)

**渡辺** 「『偶数段目』の条件が目新しい。3手目までは決定、6手目も飛金銀の限定(実は42の守備を兼ねている金銀には出来ないの)と想

像が突くので比較的手はつけやすい。」

■筋に着目する条件は多くとも、段に着目する条件ってあまりないですしね。

**リーグ戦ファン** 「3手目までが限定。玉の手は常識的には後手でしょうから、後手がフリーに指せる小ゴマの手は一手だけ。であれば、6 2金同馬、のような形では、2段目に守備駒が利かなくなるマスが存在しないので、詰み上がり図は2段目玉を4段目から飛び道具で詰める形しかありません。・・・と考えて、ほぼ一発で詰ませました。」

■玉の手条件追加でこの読み方が可能になったので一気に解きやすくなりました。

**はなさかしろう** 「作意解を先に見つけて条件良し手順良しの好作なのに余詰！？ と、失礼ながらもうひと探し楽しんでしまいました。飛車の横利きを止めるだけのための豪打▲52角を見つけ、思わず破顔大笑。それにしても、なるほどの美学！？ 3手目は不成、とは修正しないものなのですね。」

■まさにその52角を検討で見落としたんですよ。不覚。修正はいろいろ考えましたが、32馬というおいしそうなマガレが本問題の狙いだったので、不成にしてそれを消す選択肢はないかなと、こんな修正になりました。

**はらたつと** 「2段目からはなれて考えると4段目角並びかな？と思ったらすぐわかりました。」

■玉は3段目に来れない、攻めは2段目ではないとなれば飛び道具しかないですもんね。

**たくぼん** 「気楽に考えたが結構悩みました。30分は考えました。はぁ～」

■9手とはいえ上級ですから多少は考え込んでいただかないと（笑）

**高坂研** 「3手目まで明らかなのに、その後の詰上がりでの想定に一苦勞。分かってみれば、これまた有名な筋違い角の手筋だった。」

■22馬から44経由で34馬というのはなかなか気づきにくいと思います。

**はてるま** 「44歩がひらめきを要する一手。43を空けるのと44に馬を運ぶ一石二鳥の手ですね。この発見に手間取りました。玉の手がなければ4手目以下32金、同馬、62飛、52角、22銀、42金までですね。」

■収束が見えれば44歩は当然の1手なんですけどね。余詰めの52角は本当に不覚でした。

正解：19名 双方解：KGさん、チャンプさん、躑躅さん、はてるまさん

S.Kimuraさん 斧間徳子さん KGさん  
高坂研さん 鈴川優希さん 諏訪冬葉さん  
占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん  
チャンプさん 躑躅さん NAOさん  
中村雅哉さん はてるまさん  
はなさかしろうさん はらたつとさん  
宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん  
渡辺さん

## 総評

**斧間徳子** 「解答を書いている気づきましたが、今月は9手詰だけではなく、詰上り52玉作品特集でもあるんですね。」

■本当ですね。全然気づきませんでした。しかし52はかなり詰ませやすい位置ですからこの偶然も納得です。

**鈴川優希** 「次回も解答できたらいいなと思っています。」

■ぜひともお待ちしております。

**NAO** 「出題はお手柔らかかにお願いします。初回の難易度は3作とも中級かなと思いました。最初に解けたのは上級です(^^)！」

■9 手で本気の上級はなかなか作れるものではありませんから、今回の上級はたしかに中級相当だったと思います。しかしそれが最初に解かれようとは。

**KG** 「難しかったです。そしてなぜか初級より中級の方が先に解けてしまいましたw 3問とも詰み形が面白いですね。」

■普通の将棋では絶対にありえない、そんな詰み形が次々出てくるのも推理将棋の魅力のひとつですから。

**宮谷保可楽** 「DD++さん、はじめまして。たまに解答している者です。ぼちぼち頑張りますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。」

■どうもはじめまして。今後ともどうぞよろしく願いします。しかし宮谷保可楽さんって、たまにどころか常連解答者なイメージがあるんですが（笑）

**中村雅哉** 「推理将棋の有名手筋特集、といった趣でした。」

■手順も有名どころを並べる目的だったので、わかっていただけたようでうれしいです。

**渡辺** 「今回は9手とは言え、中級/上級/上級のような気がします。」

■私は初級/中級/中級かな、と思っていました。難しい9手をどれくらいの扱いと考えるかの差ですかね。

**リーグ戦ファン** 「DD++さんの今回の問題、詰め上がりがどれも飛び道具で華麗、短編の詰め将棋っぽいですね。」

■短編の推理将棋で印象が強い手順となるとどうしても飛び道具が活躍する手順になりますからねえ。

**はなさかしろう** 「選者ご就任おめでとうございます。DD++さんのセンスをこれからも楽しみにしております。」

■これからも担当がんばっていきますのでよろしく願いします。逆にはなさかしろうさんにはこれからも面白い問題の投稿を楽しみにしています。

-----  
推理将棋第43回出題全解答者： 20名

S.Kimura さん 斧間徳子さん KG さん  
高坂研さん 鈴川優希さん 諏訪冬葉さん  
占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん  
チャンプさん 躑躅さん NAOさん  
中村雅哉さん はてるまさん  
はなさかしろうさん はらたつとさん  
みやさん 宮谷保可楽さん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん



# Fairy of the Forest#27 結果発表

- 2011年02月18日：課題発表：(協力詰) 強駒先打
- 2011年04月15日：投稿締切
- 2011年04月18日：出題
- 2011年05月15日：解答締切
- 2011年05月18日：結果発表

## ■ 結果発表

### 【今回の解答者】

(敬称略、到着順、○は全題正解者)

- 神無七郎、○たくぼん、○小峰耕希、○雲海、変寝夢、○隅の老人B

☆相変わらずの顔ぶれですが、その中で変寝夢さんが初解答。2題だけとはいえ、ありがたいことです。

### ■ 27-01 たくぼん 協力詰7手

											一
											二
											三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 金2桂歩

98 桂 同銀成 87 金 同玉 88 歩 97 玉  
87 金 まで 7手

作者—客寄せで作りました。

変寝夢—詰め上がりからの逆算で解いたので  
テーマのイメージが薄い。

☆明快にできていると思うのですが、協力詰

ゆえ、不利感の演出が難しいのかも。

七郎—金先金歩ですね。狭い方から打つ桂に  
少し抵抗感があります。

小峰—成らせよりも2度の「87金」が印象的。

隅の老人B—桂が一番強かった？

雲海—詰上がりがかびやすいので解きやすい。  
配置に苦勞の跡が見えます。

☆持駒が強力なので、相応の守備陣が必要に  
なります。これも協力(強力?)詰ゆえの悩  
みでしょうか。

### ■ 27-02 北村太路 協力詰7手

											一
											二
											三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 飛桂香歩

18 飛 27 玉 28 香 38 玉 39 歩 37 玉 49  
桂 まで 7手

作者—純粋な飛先飛香などにはなっていない  
ようですが、まあしょうがないかなと思って  
います。

☆飛が縦利きだけでなく横利きを含んでいる  
点を懸念されたのでしょうか? 解答者には  
好評でした。

変寝夢—コンマ何秒だが解後感がすこぶる良  
い。

雲海—今回の作品展の中で一番課題に忠実な  
作かと。

隅の老人B—納得、強いもの順。桂はここでも別格ですね。

たくぼん—飛先飛香歩、香先香歩とは恐れ入りました。

小峰—さしずめ飛先香中歩後？ 仮に作者名が隠してあっても北村作品とわかりそうな気がします。

☆理屈っぽい構想（こんな言葉あるのか？）とその実現。北村氏の作風が如実に表れていると思います。

七郎—飛コ香コ歩という純粋な包含関係がある三つ組み。「強駒先打」でなく「強駒先捨」であれば他の組合せも考えられますが、打てる駒ではこの3つだけです。私も同じネタを考えたのですが、衝突を避けるため投稿はしませんでした。

☆課題を一捻りするのが、七郎さんの作図方針のようですね。

■ 27-03 たくぼん 協力詰 23手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
								ス	五
						香	歩		六
							香	香	七
								玉	八
			角	ス					九

持駒 香歩2

19歩 28玉 29香 同玉 47角 38香 同角 同玉 39香 47玉 48歩 46玉 47歩 35玉 36香 24玉 25歩 23玉 33香成 13玉 23杏 14玉 24成香 まで 23手

小峰—テーマが無さそうなのでインパクトは薄いですが、作図時の苦労の跡があちこちに。

作者—あまり見られる作品ではないと思うの

で、出題バランスが悪かったら没にしてください。

☆とのことでしたが、何せ作品数が少ないので採用させていただきました。

作者—初手 19 香と決め打ちする人がいるかも。

☆案の定いました。

雲海—最初何も考えず 19 香としてしまいました（笑）。

隅の老人B—初手に香打、また騙された。

☆初手に香を使ってしまうと、3手目は歩を打つしかなくなるので、受方に歩しか渡らなくなります。「受方持駒なし」にご注意ください。

七郎—3手目の香打は普通ですが9手目の香打はなかなか気づきませんでした。39歩がいかに自然で有力な手に見える上、3手目で課題は一応クリアしているので、作者の設けた罠に陥りやすくなっているのですね。お見事。

☆3手目の香打は受方に香を渡してそれを合駒させるためです。38香合を入手した後の39香打も「強駒先打」となっています。この手は後の手順を見れば判るように、36香～33香成以下の活用を見越しています。

■ 27-04 たくぼん 協力詰 47手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
						香	香	香	ス	六
					ス	ス		香	七	
					ス	ス	歩	玉	八	
					ス	ス	香	ス	九	

持駒 角金3

27角 28玉 18金 同と 19金 27玉 18金 同玉 19金 27玉 28歩 同金 同金 同玉 27金 18玉 17金 28玉 29歩 同と上 27金 38玉 37金 28玉 27金 18玉 19歩 同と 17金 28玉 18金 29玉 19金 38玉 29金 27玉 38金 17玉 27金 18玉 17金 28玉 29歩 37玉 27金 38玉 28金 まで 47手

雲海—密室型のはがし作品でよく余詰まなかったなあと思うのですが、強駒先打はどこ？

作者—よくある展開ではありますが、9手目（途中図1）が金先金歩。不利感はありませんね。

（途中図1：8手目18玉の局面）

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
							歩	歩	歩	六
							歩	歩		七
							歩	歩	王	八
							歩	歩	玉	九

持駒 金歩

☆確かにここで19歩だと手が続かないことは一目瞭然です。まあ、課題については形だけクリアしたということ……。

七郎—課題に該当するのは9手目19金？ 意味付けとしては微妙ですね。それよりも14手目（途中図2）から「28同玉、27金…」とする手順が見えにくかったです。（ここは「28同と寄、38金…」としたくなる所ですから。）

（途中図2：13手目28同金の局面）

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
							歩	歩	歩	六
							歩	歩	王	七
							歩	歩	金	八
							歩	歩		九

持駒 金

小峰—38とを19まで呼び出す（途中図3）手順の発見が鍵。

（途中図3：28手目19同との局面）

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
									六	
							歩	歩	歩	六
							歩		金	七
							歩		王	八
							歩	歩	歩	九

持駒 なし

隅の老人B—密室、謎解きよりは根気。頑張ろうニッポン、ですね。

☆途中図3からは19とをはがして29歩と打ち、それを軸に詰上ります。

■ 27-05 神無七郎

後手持駒なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							ス	ス	四
						ス	ス	王	五
							ス	ス	六
						ス		ス	七
								ス	八
									九

持駒 桂3香3歩

27桂 同と上左 16香 同玉 28桂 同と上左 17香 同玉 29桂 同と左 18歩 16玉 17歩 15玉 16歩 同玉 19香 18香 同香 17と上 同香 同玉 18歩 16玉 17歩 15玉 16歩 同玉 19香 18香 同香 17桂 同香 同玉 19香 26玉 18桂 15玉 26桂 18香 同香 17香 同香 16と 同香 同玉 19香 18香 同香 同と上 17歩 26玉 27香 15玉 16香 まで 55手

作者一序盤の2回の香打が「強駒先打」になっています。持駒はできれば「桂4香4」にしたかったのですが、後半の合駒順が限定できず、趣向の手順も現れないため、本図に落ちました。

☆まずは桂捨・香捨を繰り返して、1筋のと金を移動させます。途中2回の香打のうち1回を歩打に代えると、途中図1で持駒が香2となり、19香、18と寄、同香、同玉、19歩、17玉の6手ぶん、作意より長くなってしまいます。

(途中図1 : 10手目 29 同と左の局面)

後手持駒 : 桂3香2

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							ス	ス	四
						ス	ス		五
							ス		六
						ス	ス	王	七
							ス		八
							ス		九

持駒 香歩

☆途中図1からは、「18歩、16玉、17歩、15玉、16歩、同玉、19香、18香合、同香、17〇、同香、同玉」という12手1組の手順を2度繰り返しますが、1度目は〇=と上で、26地点を空けておきます。

(途中図2 : 22手目 17 同玉の局面)

後手持駒 : 桂3香2歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							ス	ス	三
						ス	ス		四
									五
						ス	ス	王	六
							ス		七
							ス		八
							ス		九

持駒 香歩

☆途中図2からは2度目の反復手順に入りますが、今度は〇=桂で、先手の持駒は桂香に変わります。

(途中図3 : 34 手目 17 同玉の局面)  
後手持駒 : 桂 2 香 2 歩 2

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							ス	ス	四
						ス	ス		五
									六
						ス	ス	王	七
							ス		八
							ス		九

持駒 桂香

☆途中図3からは、上記反復手順の歩の代わりに桂を代用したような手順となり、2度の香合と16と合により、持駒を香2歩とします。

(途中図4 : 46 手目 16 同玉の局面)  
後手持駒 : 桂 2 香 歩 2

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							ス	ス	四
						ス			五
							桂	王	六
						ス	ス		七
							ス		八
							ス		九

持駒 香

☆ここからは収束です。19香、18香合、同香、同と上で27地点を空けてから、持駒を連打して詰上ります。

(詰上り図 : 55 手目 16 香まで)  
後手持駒 : 桂 3 香 歩 2

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							ス	ス	四
						ス		王	五
								香	六
						ス	香	歩	七
							ス	ス	八
							ス		九

持駒 なし

たくぼんーたくさん強駒先打があったような感じがしたが2回でしたか。内容が面白すぎるので課題はそっちのけで楽しめました。

☆平凡な課題も面白い物に仕上げてくる手腕と志の高さには敬服せざるを得ません。

雲海一どのと金をどの順で剥がすかを試行錯誤。桂合の発見が難しかったです。収束の17歩が課題に対するものになっていて面白いです。

隅の老人B-20手前後の難しいこと！詰上がり図が想定できない、何度匙を投げたことやら。

小峰ー収束が見えずにちょっと苦勞しました。受方でも強駒先打が飛び出さないかと期待してしまっただけですが、流石に難しいでしょうか。

☆協力詰ですからねえ。受方が強い駒を渡すのは当然だし……。うーん、何か理屈は立てられますか。

【総評】

隅の老人B-課題は「強駒先打」、これは解き手には大きなヒントですね。おかげで、4題は楽々クリヤーでしたが、七郎さんで大苦戦。ようやく解けたぞ？が、5月の14日。気が付けば、我が家の庭のツルバラが満開。

薔薇の木に薔薇の花咲く、なにごとの不思議なけれど。ハイ、そういうことです。

☆薔薇の木に……てっきり萩原朔太郎と思って調べてみたら、北原白秋だったのですね。まあ、師弟みたいなものだから、まるっきりの見当違いでもなかったのですが。

変寝夢ーペンネームでお願いします。

☆しばらくぶりに復活された作者。これを機にフェアリーの方でもご活躍を期待します。

雲海ー作品投稿ができなかったので、解答をお送りします。

☆次回は作品の方もよろしく。

小峰ー何とか全部解けました。

☆いつもありがとうございます。

たくぼんー早めに解けたので解答送っておきます。まあ2題解くだけでしたのでね。協力詰では強駒先打に不利感が少ないので、創るほうはなかなか大変ですね。

☆「強駒先打または先捨」とすべきでしたか。「打」に限定してしまったので、表現の範囲が狭まってしまいましたね。

七郎ー相変わらずの作者数不足ですね。(W F P作品展も似たようなものですが。)これを補うために、酒井さんご自身が参加するのはいかがでしょうか？ 久々に酒井さんのフェアリー作品も見てみたいですし。

☆うーん、そう来ましたか。私も一つ、と思わないでもなかったのですが、なかなかできないでいたのです。次回こそは何とか頑張ってみます。(そんなこと言って大丈夫か?)

## Fairy of the Forest #28 課題発表

■ 2011年05月18日：課題発表：(協力詰)  
最終手=桂

□ 2011年07月15日：投稿締切

□ 2011年07月18日：出題

□ 2011年08月15日：解答締切

□ 2011年08月18日：結果発表

### ■ 課題発表

☆多忙のため、森茂作品を調べる時間がありません。よって、今回は暫定的措置として、九州G作品展と同一課題とさせていただきます。「最終手=桂」です。

手抜きのようなのですが、こういう漠然とした課題の方が作りやすいのかも知れません(←言い訳)。

☆多数の投稿をお待ちしています。おっと、私も考えないと……。

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

# 第10回 詰四会フェアリー作品展

## 課題：馬が頑張っている作品

今回の課題は「馬が頑張っている作品」でしたが、馬鋸と言う言葉がパッと浮かぶように短編より長編向けの課題でした。フェアリー作品で集まった作品は2作。雲海氏の超長編協力自玉詰と前回の引き続いて一乗谷酔象氏の長編推理将棋です。2ヶ月の解答期間をとったにもかかわらずさすがに解答者には厳しかったのか解答者は橋本孝治氏ただ一人。第1番の解答を頂いたあとぎりぎり第2番も解答頂き両作とも解答者0という事態を回避する事が出来ました。橋本氏には感謝申し上げます。

### 【ルール】

**協力自玉詰：**先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

### 第1番 雲海作

#### 協力自玉詰 306手

			歩	銀			馬	王	一
		金	金	金		王	銀	馬	二
歩	銀	金	桂						三
桂	歩	歩							四
				香					五
				王					六
	王				桂	桂	銀	銀	七
		王	歩	王	銀				八
									九

持駒 歩12

88歩 86玉 31馬 42と 87歩 同玉 21馬寄 43と 88歩 86玉 31馬 53と 87歩 同玉 21馬寄 54と 88歩 86玉 31馬 64と 87歩 同玉 21馬寄 65と 88歩 86玉 31馬 75と 87歩 同玉 21馬寄 76と (途中図1)

導入部は、歩を使い後手玉を86と87に移動させながら馬で王手しながら32とを76まで運んでいきます。

(途中図1)

			歩	銀			馬	王	一
		金	金	金			銀	馬	二
歩	銀	金	桂						三
桂	歩	歩							四
				香					五
				王					六
	王				桂	桂	銀	銀	七
		王	歩	王	銀				八
									九

持駒 歩8

88歩 86玉 87歩 97玉 31馬 86と 98歩 96玉 97歩 85玉 86歩 76玉 21馬寄 67玉 68歩 同玉 13馬 57香成 (途中図2)

次にお約束の手順でと金を奪います。この順は持駒増幅機構でよく出てくる順ですのでよく覚えておけば長編協力詰の解図に役立つはず。まずここにポイントがあります。と金を奪う場所が作意では86ですが、87でも可能です。88歩に対して97玉とし31馬、86と、98歩、同玉、21馬、87と、98歩以下の順です。しかしこの順は作意同様進めていくと8,9筋の歩の位置の微妙な違いにより1歩不足となります。作意にかなり近い順ですのではまると大変かも。と金を消した後は後手玉を6筋に移動させ今度は12馬の出番です。13馬の王手に対して57香成として次に進みます。

(途中図2)

			歩	銀			馬	王	一
		金	金	金			銀		二
歩	銀	金	桂					馬	三
桂	歩	歩							四
				香					五
	歩								六
歩				王	桂	桂	銀	銀	七
		王	歩	王	銀				八
									九

持駒 歩6

69歩 67玉 12馬上 56杏 68歩 57玉 13馬  
 66玉 67歩 75玉 31馬 65玉 66歩 同杏 21  
 馬 75玉 31馬 76玉 21馬 86玉 31馬 87玉  
 21馬 76杏 88歩 97玉 31馬 86杏 98歩 同  
 玉 21馬 87杏 99歩 97玉 98歩 86玉 87歩  
 75玉 (途中図3)

ここからは成香を手に入れる順になります。2  
 枚の馬を使って57杏を87まで運びお約束の順  
 で香を手に入れます。作者コメントにあります  
 が、成香を剥す位置も86ではなく87であるの  
 がポイントの1つ。

(途中図3)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			歩	香			馬	王	一
		金	金	金			銀		二
歩	銀	金	桂					馬	三
桂	歩								四
		王		香					五
									六
	歩				桂	桂	銀	香	七
歩		皇		歩	皇	銀			八
									九

持駒 香歩2

31馬 85玉 86香 96玉 97歩 同玉 84香 86  
 歩 98歩 96玉 97歩 85玉 86歩 84玉 85歩  
 同玉 86歩 76玉 21馬 86玉 87歩 97玉 31  
 馬 86香 98歩 96玉 97歩 85玉 86歩 84玉  
 85歩 同玉 (途中図4)

ここで局面打開が必要になります。香だけでは  
 手が進みませんので持駒の歩を増幅しなければ  
 いけません。84歩に目が行けば香を使い開き王  
 手でこの歩を取れる事に気付きます。

(途中図4)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			歩	香		馬		王	一
		金	金	金			銀		二
歩	銀	金	桂					馬	三
桂		歩							四
	王			香					五
									六
歩					桂	桂	銀	香	七
		皇		歩	皇	銀			八
									九

持駒 香

89香 88歩 同香 87歩 同香 86歩 同香 76玉  
 21馬 86玉 87歩 97玉 31馬 86香 98歩 96  
 玉 97歩 85玉 86歩 84玉 85歩 同玉 89香  
 88歩 同香 87歩 同香 86歩 同香 76玉 21馬  
 86玉 87歩 97玉 31馬 86香 98歩 96玉 97  
 歩 85玉 86歩 84玉 85歩 同玉 89香 88歩  
 同香 87歩 同香 86歩 同香 76玉 21馬 86玉  
 87歩 97玉 31馬 86香 98歩 96玉 97歩 85  
 玉 86歩 84玉 85歩 同玉 89香 88歩 同香  
 87歩 同香 86歩 同香 76玉 21馬 86玉 87  
 歩 97玉 31馬 86香 98歩 96玉 97歩 85玉  
 86歩 84玉 85歩 同玉 89香 88歩 同香 87  
 歩 同香 86歩 同香 76玉 21馬 86玉 87歩  
 97玉 31馬 86香 98歩 96玉 97歩 85玉 86  
 歩 84玉 85歩 同玉 89香 88歩 同香 87歩  
 同香 86歩 同香 76玉 21馬 86玉

(途中図5)

ここからは持駒増幅機構です。歩2枚を使い局  
 面を動かし香打で歩の3連合を発生させます。  
 これで持歩を1枚増やせます。これを繰り返して  
 持歩が8枚になったところでいよいよ収束へ向  
 かいます。



(途中図 5)

			香	香			馬	王	一
		金	金	金			銀		二
香	銀	金	桂					馬	三
桂	歩								四
			香						五
	王								六
歩				桂	桂	銀	香		七
		皇	香	皇	銀				八
									九

持駒 歩8

31馬 76玉 21馬 67玉 12馬上 56香 68歩  
 同玉 13馬 57香成 69歩 67玉 12馬 56杏  
 68歩 同玉 13馬 46杏 69歩 67玉 12馬 45  
 杏 68歩 同玉 13馬 35杏 69歩 67玉 12馬  
 34杏 68歩 同玉 13馬 24杏 69歩 67玉 12  
 馬 23杏 68歩 同玉 13馬 同杏 69歩 67玉  
 68歩 66玉 67歩 75玉 31馬 76玉 21馬 86  
 玉 87歩 97玉 31馬 86角 98歩 96玉 97歩  
 85玉 86歩 76玉 21馬 67玉 12角 同杏まで  
 306手 (詰上図)

ここからの収束は玉を6筋に運び12馬に56香合～57香成と成香を発生させて成香を13まで運び、馬を取らせます。その角を合駒で入手し12角、同杏でゲームセット。序のと金送りとラストの成香送りも見事に呼応しており解答者を飽きさせません。お見事！

(詰上図)

			香	香			馬	王	一
		金	金	金			銀	皇	二
香	銀	金	桂						三
桂	歩								四
			香						五
	歩								六
歩		王		桂	桂	銀	香		七
		皇	香	皇	銀				八
									九

持駒 なし

【作者コメント】

持駒増幅機構に単純な歩消費型の鋸引きを組み合わせただけの物です。この作を簡単に表すと「と金鋸+持駒増幅+成香鋸」になります。

本来は「持駒増幅×鋸」とするべき素材で、それが出来ないか約1ヶ月ほどいじりましたが、非限定もしくは機構の破綻のどちらかが発生し、出来ませんでした。ルールが協力詰ではなく協力自玉詰であるのも余詰が厳しかったためです。掛け算にできなかったのもお蔵入りしていたのですが、今回の詰四会の課題に一応合っているため投稿することにした次第です。

投稿するにあたり序を追加しようとした所、と金鋸と成香剥がしが入りました。と金鋸は一番最後に追加した手順で、安易ではあるけれど成香鋸と対する目的で入れました。成香剥がしはこの作で唯一気に入っている所で、86で剥がそうとすると1歩不足で持駒増幅が出来ないのですが、87で剥がせば、86で剥がすよりも最初は1歩消費しますが、その後2歩入手出来ます。つまり正味1歩入手することができ、持駒増幅ができるようになる仕組みになっています。

最後に2つほどお願いを。

1つ目は「持駒増幅×鋸」は絶対出来ると思うので、どなたか挑戦して下さい。

2つ目は今回これの全検にM10=1000MBで約400時間かかりました。序のと金鋸の手順をカットして、歩を4枚減らせば1～2時間で全検が出来るので、原因は歩の枚数の多さだと思われます。しかしこの作の特性上、M11、M12オプションでは不詰になってしまいます。効率の良い検討方法をご存知の方がいらっしゃいましたらご教授ください。

橋本孝治

詰みに至るストーリー(と金消去→56香入手→84歩消去→持駒増幅→56香再設置・成香鋸)は予想通りだったのですが、1歩不足に悩まされました。と金を消去する場所が7段目ではなく、6段目であることになかなか気付かなかったのです。7段目で消去するならば非限定が生じるので、後から考えればこの手順は当然なのですが、解図中は必死に他の手段(と金を消さずに成香と入替える、等)を探していました。鋸引きを行う駒を合駒で発

生させる作品は過去にも例がありますが、(有名なのは「集積回路2」ですね) 最初から鋸引きできる駒を一旦消して、改めて合駒で元の位置に発生させるというのは、なかなか凝った構成です。欲を言えば2枚馬が個々別々に働く手順ではなく、2枚馬が相互に絡み合った手順だと良いのですが、この作者ならいづれそんな作品も作ってくれそうです。

## 第2番

一乗谷酔象 作

### 【推理将棋】馬ががんばった堂々巡り

「4手目から『同X』を連続して60手で勝ったんだ。同々の最長手数を達成したよ」

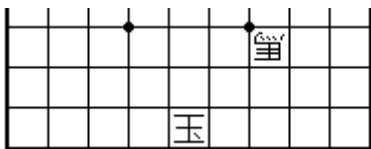
「まさか。ホントかい？理論上は58手が最長と聞いていたんだけど」

「馬が頑張った将棋だったよ。馬を取った角は、成ってから7種の駒を取ったんだ」

「まさか。ホントかい？角が品切れで残りは6種のはずだけど」

「そうなんだ。この局面を見てくれよ。」

--- (図は58手目 初王手の局面) -----



「58手目に37同馬と初王手を掛けた局面なんだ。ここで、合駒のない先手は、玉自ら48に突撃してきたので、60手目にありがたく48同馬と取ったのさ」

「なんだ59手目は反則だったか。もう少し詳しい手順を教えてくださいよ」

「後手の大駒が活躍したよ。後手は8回続けて大駒を動かした。3回連続飛車の手もあったし、3回連続角の手もあった。角が成った後、成ったばかりの馬が次の手から3回連続動いた。馬は、角以外の6種の駒を取った後、最後に玉を取ったんだ」

「ほかにはどんな手があったの？」

「22手目と46手目に金を取ったし、16手目と28手目は成香を取った。香が成って飛を取る手があった。端の香打ちがあった。不成はなかった」

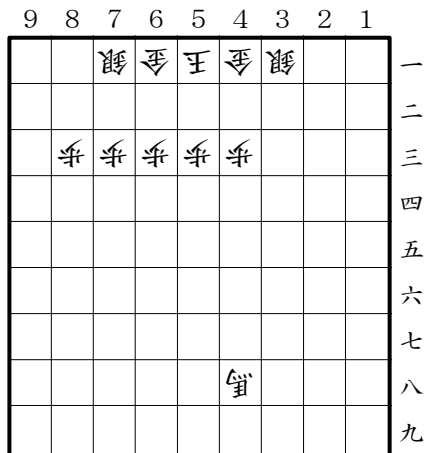
## (条件)

- 1) 4手目以降は「同X」の連続。
- 2) 先手王の条件：
  - ・58手目 37同馬(初王手)に対し、48玉(反則手)と指し、同馬と取られた。
- 3) 後手大駒の条件：
  - ・馬は7種の駒を取った。
  - ・(角が成ったすぐ次の手から)3回連続馬の着手あり
    - ・3回連続角の着手あり
    - ・3回連続飛の着手あり
    - ・8回連続大駒の着手あり
- 4)その他
  - ・22手目と46手目は金を取る手
  - ・16手目と28手目は成香を取る手
  - ・香が成って飛を取る手あり
  - ・端の香打ちあり
  - ・不成はなかった

さて馬ががんばった「同々」最長手順とは、どんな将棋だったでしょう。推理してください。

76歩 32飛 33角成 同角 66歩 同角 75歩 同角 36歩 同飛 96歩 同飛 86歩 同飛 93香成 同桂 85歩 同桂 77歩 同桂成 78金 同圭 16歩 同飛 26歩 同飛 13香成 同桂 97歩 同香成 46歩 同飛 97桂 同角成 96香 同馬 78銀 同馬 23飛成 同馬 56桂 同飛 同歩 同馬 38金 同馬 25歩 同桂 17飛 同香成 同桂 同桂成 28香 同圭 同銀 同馬 37桂 同馬 48玉 同馬 まで60手

最終図



持駒なし

## 【作者コメント（一乗谷酔象）】

「4手目から後手が『同X』を連続する手順、推理将棋」を「同々巡り」問題と呼んでいます。同々巡り問題では、最長何手まで手数を延ばせるか？現在のところ、最終形によって手数は異なりますが判明している最長手数は次のとおり。

- 1) 先手玉が詰み：54手
- 2) 先手玉がスタイルメイト：56手
- 3) 最終手が王手：58手

本作は、最後の反則手はおまけとして、58手解を求める最長手数探索型ですので、最終手が王手の58手解が見つかれば、8割正解です。実際に解図に取り組まれた方は、やはり、同Xを続けながら、如何にして手数を稼ぐかに悩まれたことでしょうか。駒を取っては打って手数を延ばしますが一手で敵陣に飛び込める駒は、香と角と飛。23飛成の発見が一つの鍵となります。条件付けは、できるだけ馬に頑張ってもらいつつ手順を限定させるため、かなり強引なものとなりました。例によってヒントを兼ねた道標条件とご理解ください。

★昨年9月に第9回詰四会フェアリー作品展第4番として発表され Fairy TopIX2010の推理将棋・プルーフゲーム部門で2位を獲得した「桂ががんばった堂々巡り」に続く第二弾。今回は最長手数に挑戦した「馬ががんばった堂々巡り」です。

★本作は上記3)の58手に最後反則を含めて60手にした最長記録作。非限定を消す為に条件がやや多く感じられますが、これは致し方なし。逆に解答者にとっては解図の道標となり心地よい解図を味わうことが出来るといった利点が生まれています。前回に続き作者からの投稿には解答が付いておりませんでしたので私も解図したのですが、条件の多さから手をつけるのを躊躇してなかなか解図を始められませんでした。しかしながら解図を始めると条件の1つ1つがよきヒントになっているのに感動しました。その点をもっと告知すべきだったと反省しています。条件の煩雑さだけで解図をあきらめた方は是非もう一度考えて欲しいそんな気がします。

解答期間を2ヶ月にしたにもかかわらず解答者及び正解者が橋本氏ただ一人という結果は正直残念です。

## 橋本孝治

最初は条件が多くて面倒そうに思えたのですが、条件を適当に拾いながら解いていくと、余計な紛れを避けることができ、むしろ親切な条件設定だということが分かりました。最後の2手が反則で終わりというのはやや抵抗がありますが、堂々巡りの究極ということで、やはり価値が高い作品だと思います。

## 【総評】

## 橋本孝治

第1番の雲海氏作は予想通り苦戦、第2番の一乗谷酔象氏作は意外とすんなり解けました。締切が一か月分長くて、自分の都合に合わせて解図に取り組めたのも良かったと思います。WFP作品展でも難問は別締切を設けた方が良いのかもしれませんが。

★ 次回の課題は「大駒4枚使用」になる予定ご準備の程よろしくお願いします。

頑張ろう東北！ 頑張ろう関東！

## がんばろう日本！ 祈念作品展

今回の東北関東大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

東日本のみならず「がんばろう日本！」のローガンの下開催した本作品展。明るく楽しい気持ちになれる作品、希望の光を感じる作品としての出題のはずが・・・2番、3番、4番が余りにも難解だったためか解答者数3名と淋しい結果になってしまいました。これでは「がんばれたくぼん！」ですね。

まだまだ復興には時間が掛かりますが、より早く被災された皆様に笑顔が戻ることを心よりお祈りするとともに、少しでもお力になる事をしていきたいと思っています。投稿いただきました皆様、解答いただきました皆様主旨に賛同いただきありがとうございます。

【3題正解】小峰耕希、橋本孝治、雲海

### 第1番

洞江元太 作

Isardam 協力詰3手 a)Aタイプ b)Bタイプ

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					飛	角	王		四
									五
									六
					馬				七
									八
									九

持駒なし

### Isardam (Aタイプ)

- ・ 同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。
- ・ 成駒と生駒は別の駒として区別する。
- ・ 以上の条件は王手の概念にも適用され、玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。

### Isardam (Bタイプ)

- ・ 同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。
- ・ 成駒と生駒は別の駒として区別する。
- ・ 以上の条件は王手には適用されない。  
(玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合でも王手とみなす。)

a) タイプ A

22角生 14飛 13角生 まで 3手

b) タイプ B

33角生 35玉 24角生 まで 3手

a) 詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
								角	三
					飛		王	遊	四
									五
									六
					馬				七
									八
									九

持駒なし

b) 詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					飛		角		四
							王		五
									六
					馬				七
									八
									九

持駒なし

【作者コメント (一部再掲)】

作品に関してですが昨年 WFP に出題した安南協力詰3手のツイン、今年プロパラに載った(ら

しい) Messigny 協力詰 3 手のツインに続き、協力詰 3 手ツインの第 3 弾です。初形 4 枚で表現できたところが主張です。できればタイプ A とタイプ B で角のいく方向が逆にできれば良かったのですが、この駒数では厳しく断念しました。明るく楽しい気分慣れる問題かは疑問ですが、簡単な問題ですので一人でも多くの人に楽しんで頂ければ幸いです。

★ まずは洞江さんの 3 手のツイン。客寄せと言うにはもったいない完成度の高さを見せてくれます。

Isardam ルールが良く分からない方にちょっと手順を説明します。まず a) A タイプの作意、初手は 3 手目に備えて 22 角生と不成で行きます。飛による王手ですがここで Isardam (A) 特有の防御手が出ます。それが 14 飛。合駒になってはいませんが、3 手目 24 飛と玉を取ると先手 24 飛と後手 14 飛がお互いの利きに入るので、ルール「同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。」に接触し反則となるのです。B タイプではこの時王を取るほうが優先となりますので 14 飛の受けは利きません。3 手目 13 角生として詰上りです。分かり難いですが 1 つ 1 つ見てみましょう。まず同玉と取る手は 54 飛と 14 飛が互いの利きに入るので禁手でダメ。15、23、25、33 も同様。34 玉は 57 角と 13 角の利きに入るのでこれも禁手。これが最終手 13 の駒が角でないといけない理由です。35 玉は、最終手が王手であるという事と同じなんです、パッと見 24 (35) 角と取った手が 57 角の利きに入るので取れない (王手ではない) と思えるのですが、角成で取る事が出来るための大丈夫。ルールに「成駒と生駒は別の駒として区別する。」とあります。

b) の場合は、14 飛といった受けがありませんので最終手の角に紐を付ける必要が生じます。A タイプは見慣れない Isardam 特有の手順が生まれやすいので発表作品数も多いのですが B タイプはやや少ないので解答者の皆さんが B タイプに苦労されたというのは面白い現象でした。

### 雲海

タイプ A とタイプ B の違いを簡潔に表現した綺麗なツインですね。

### 橋本孝治

最近タイプ A ばかりやっていたせいか a) がすぐ見えて b) が分からないという状況に陥ってしまいました。

作者のヒントで、角の行く方向が同じであることが分かり、何とか解けました。そのせいか、不成でも王手が掛けられるタイプ B の方が面白く感じてしまいます。

### 小峰耕希

これまで Isardam はタイプ A しか解いた事がなかったので、却ってというか、タイプ B で少し悩んでしまいました。

## 第 2 番

### 小峰耕希 作

対面協力白玉詰 1 2 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								王	四
							香		五
									六
				皇			香		七
							王		八
									九

持駒 香

19 香 18 飛 同香 16 角 94 飛 84 飛  
同飛 83 角 74 飛打 73 角 29 飛 84 角  
まで 12 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								王	四
							香	皇	五
									六
							香	香	七
				皇			王	飛	八
									九

持駒 なし

【作者コメント】

実は本局は 2007 年 5 月に作図したもので、

OsFMのトップページ出題用に投稿したのですが、改良の余地ありという事で不採用になったものです。本当はこういうアイデアはもっと推敲・発展させてから出題しなければいけないのですが、当時も七郎さんからは「充分出題できるレベルだと思う」と判定されていたのと、当時より今の方が作図力が鈍っているので、すぐに改善できる見通しが無いので、この図のままにします。改良は今後の宿題とさせていただきます。こじつけとしては、11手目が「飛躍」を表現しているということで^^;

詰パラ 1986年7月号掲載の佐々木浩之さんの作品（対鮮ばか詰5手、余詰、ルール呼称は原典に依る）が、飛を並べる→連続角対→「飛躍」の第1号局らしいです。

佐々木浩之作 対鮮ばか詰 5手（余詰あり）

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛2

★難解作その1。作者以外の正解者は1名（雲海さん）。手順では1筋に大駒合をする事までは分かるがその後の詰上型の想像が難解。対面特有の詰上りを考えては作意に到達は出来ないので。詰上図を見ていただければ分かりますが、2枚の放射角での詰上りでいかに29の地点を埋めるかがポイントだったことが分かります。2手目の飛合の位置も17ではダメ（16角が香の利きになるから）です。佐々木作の手筋を上手く使い29飛を実現した本作は記憶に残る1作となりました。

雲海

実はこの手順はストックに似た手順がありましたので意外と楽に解けました。

第3番

神無太郎 作

安南協力自玉スタイルメイト 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角2

19角 37香 同角 45玉 18角 27飛 36香 37飛生 31香生 18歩生 まで 10手

【コメント】

ストックからですが、作意に、「周到な準備のもと、最後まで生き抜いて、飛躍を勝ち取る」というストーリーを見出しました。日本の力を信じています。

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

★難解作その2。昨年度フェアリーランド全解の雲海氏、WFP年間解答成績1位の橋本氏が白旗を上げた作品。解図の方針としては角2枚はどこでも捨てられるので、先手王の動ける4ヶ所（19,28,38,39）をどう抑えるかということ

になります。38,39は37に飛香歩のどれかを置けば抑えられる。その中でも飛なら28も抑えられるので一石三鳥と思いつきます。ではと19(28)角、37飛としても手が続かず頭を捻る事になります。それを頭に入れて作意をご覧ください。19角,37香! (飛にしたいところを香! 他の駒ではダメなところは9手目を見れば分かります) 同角、45玉、18角(最終手が出来るよう) 27飛(26金がいるので王手ではありません) 36香(ここからの4手が凄い!) 37飛生(成ると逆王手) 31香生(11手目に動かさなくする) 18歩生まで。

2手目香合以外の合駒は、その駒を36に打って開き王手で動かした際、11手目(実際にはないですが)に動けない位置に行けないのです。

ラスト3連続生を含む全てが好手の傑作です。私は投稿時解答を見たので解図を味わえませんが、解けなかった人もこの手順を見て驚かれていますことでしょう。正解者0が残念な結果ではありました。詰パラフェアリーランドで出題しても解ける人は少ないでしょう。

## 雲海

未だ解けず

## 第4番

神無七郎作

PWC協力自玉スタイルメイト 18手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
					王				五
									六
									七
								馬	八
						王		馬	九

持駒 飛2香3

47香 46桂 15飛 36玉 38飛 47玉/36香 17飛 37桂 48香 36玉/47香 37飛寄/17桂 25玉 29香 28角生 同飛/38角 27桂 同飛寄/37桂 26桂 まで 18手

## 詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							王		五
					料		料		六
					香	料	飛	料	七
					香	馬	飛	馬	八
						王	香		九

持駒 なし

★難解作その3。作者以外の正解者0。昨年度のFairy TopIX2010長編1位を授賞した氏の作品(WFP先月号を参照下さい)のテーマが「煙詰とは逆に駒がどんどん増えていく作品」でした。本作もそのテーマに沿った作品と思います。

(盤面初形4枚→最終図13枚)

出題時の作者コメント(一部)

「現場で放射線と戦う作業員になったつもりで、飛と香の強力な射線をうまく封鎖してください。」

実際に現場で作業されている方々は本当に大変な状況の中頑張っているらしいです。心より頭が下がる思いです。

本作は、先手の飛と香をどう封じ込めるか。その駒が動いた時にどう逆王手にさせる舞台を作るかが解図ポイントですが、初形が漠然としていますのでどこから手を付けたらいいのかが分かりづらいですね。そのあたりが解答者が苦戦した要因でしょう。封じ込めに役立つのは頭の丸い角と桂。詰上りをご覧ください。47香や27飛のタテの利きを抑えているのが6段目の桂。27飛の横の利きを押さえているのが17と37の桂。28飛の横の利きを抑えているのが18と38の角。この詰上りを見るとなるほど!と思ってしまうですね。なるほどと思ってもこの詰上りを想像するのも至難の業。その手順を構築するのも至難の業。特に玉が25と離れて行く順はなかなか気づき難いでしょう。それにしても最終図をみると感動さえ覚えてしまうほど見事に飛と香の強力な射線を封鎖しています。実際の現場でも早くこうなる事を願ってやみません。

## 雲海

未だ解けず

### 第5番

たくぼん 作

協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					と				四
			皇		科				五
		と	歩	王	銀	歩			六
		歩					馬		七
		銀					將		八
									九

持駒 なし

57銀 47玉 48銀 46玉 37銀 57玉  
13角 56玉 46角成 まで9手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					と				四
			皇		科				五
		と	歩	王	馬	歩			六
		歩					銀		七
		銀					將		八
									九

持駒 なし

★最後は私のおまけ作。不要駒多数で作品的にはなっていないですが、どうしても出したかった1作。作意は「家」→「家」の復興祈願です。早く震災前の状況に戻れる事を祈っております。

## 雲海

A→Aの立体曲詰とはわかっていても意味まではわからず。教えてください〜。

★う〜む。Aと取られる可能性があるのだったら地面に(9段目)に付けて置けば(そのままでは余詰みますが)よかった。

### 橋本孝治

9手掛ければ壊れた家も元通り。この手順だけなら使用駒5枚で出来ますが、この「形」が作意なんですよ〜ね？

★その不要駒も作意です。作者の意図を見事に汲んで頂きました。

### 小峰耕希

復旧完了。

★早くそうなる事を祈っております。

### 【総評】

## 雲海

あの地震から2ヶ月以上経ちましたが、未だに行方不明者や避難生活を強いられる人が多くて、心が痛みます。原発の件もありますし、収束するのはいつになるのでしょうか・・・

★まだまだ長い道のりですが、原発問題の収束が当面の課題かとも思うが、全ての面で前に進む事が大事。国会のバタバタは何をやっているんだか・・・

### 橋本孝治

初見では易しそうに見えた第2番・第3番で大苦戦。第2番は紛れが多すぎて本筋が見えず、第3番は最終形がさっぱり想定出来ず、結局白旗。修業し直しですね。

★2番作者はOFMに投稿して没になったって言うてますので、橋本さん忘れちゃったのでしょうか？私も良くあります。ある程度年を取ると記憶容量にも限界があるので昔の記憶は捨てていかないと今が覚えられないんですよ〜ねえ〜。ってこれは私だけかな。



～1手詰?コンクール～ 追記4

担当：神無七郎

無駄合なら1手詰、有効合ならとんでもない長手数…そんな作品を募った「1手詰?コンクール」。これに記録更新作が送られてきました。作者はsoga氏。初耳かもしれませんが、WFP読者の皆さんが良くご存知の方のペンネームです。記録を更新したのは【課題A】【課題B】の両分野、ただし【課題A】の更新の方は少し条件付きの記録です。ではさっそく記録更新作をご覧くださいませ。

**【課題A】**

(多重)間接王手に対する合駒を無駄合に含めると1手で詰み、無駄合概念のないルールで解くとなるべく手数が長くなる図を作れ

**補足：**

- ・1手詰の手順は(多重)間接王手による詰であり、余詰が一切ないこと
- ・無駄合概念のない方の手順は攻方最短・受方最長の手順の長さのみを考慮し、非限定や長手数の余詰がいくらあっても良いものとする

soga 氏作 1手/69手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							料	ス	五
								王	六
								角	七
			驥					龍	八
								玉	九

持駒 なし

- 1) 37 龍まで1手詰
- 2) 37 龍

- 「27歩、同角、18歩、同角」×7
- 「27桂、同角、18歩、同角」×3
- 「27銀、同角、18銀、同角」×2
- 「27金、同角、18金、同角」×2

27香、同角、18角、同角、27香、同角、18桂成、同角、27香、同角、18龍、同香まで69手詰

※同手数別詰

64手目18桂成に対して

同香、同龍、同角、27香、28金まで69手詰

**【作者のコメント】**

別詰のある部門の34重間接王手です。香を残すことで逆王手で逃れるようにしました。

最後まで往復する2点のどちらかには効きを残さなければならぬ(この場合は16と)ので、このあたりがギリギリだと思います。

一応、飛などで2点を同時にカバーできるのですが……

これまでの記録は「1手/67手」のNAO氏作でしたが、本作は収束に同手数余詰があるものの「1手/69手」の記録を達成しています。筆者は(たとえ同手数余詰を許容しても)記録更新は難しいかと思っていたので、新記録をこれだけ簡潔な形で達成したことに驚かされました。

soga氏は更に【課題B】でも記録更新を果たしています。もちろん「追記3」で紹介した本橋皓作「驥進」1057手(本課題に該当する部分は999手)を越える手数です。

**【課題B】**

原形復帰型無駄合を無駄合に含めると1手で詰み、無駄合概念のないルールで解くとなるべく手数が長くなる図を作れ

**補足：**

- ・1手詰の手順は原形復帰型無駄合による詰であり、余詰が一切ないこと
- ・無駄合概念のない方の手順は攻方最短・受方最長の手順の長さのみを考慮し、非限定や長手数の余詰がいくらあっても良いものとする

soga 氏作 1手/1077手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	金	金							一
玉	龍	馬							二
			驥	卒					三
	王			馬			角		四
		卒	金						五
		馬	料						六
香									七
									八
	銀	馬	馬						九

持駒 なし

- 1) 82 龍まで 1 手詰  
 2) 「82 龍、83 歩、93 龍、85 玉、96 龍、84 玉、94 龍、73 玉、83 龍、62 玉、72 龍、51 玉、61 龍、42 玉、41 龍、33 玉、32 龍、24 玉、23 龍、35 玉、25 龍、46 玉、36 龍、57 玉、47 龍、68 玉、58 龍、77 玉、88 龍、67 玉、78 龍、57 玉、58 龍、46 玉、47 龍、35 玉、36 龍、24 玉、25 龍、33 玉、23 龍、42 玉、32 龍、51 玉、41 龍、62 玉、61 龍、73 玉、72 龍、84 玉」×18

- 「82 龍、83 桂、93 龍、85 玉、96 龍、84 玉、94 龍、73 玉、83 龍、62 玉、72 龍、51 玉、61 龍、42 玉、41 龍、33 玉、32 龍、24 玉、23 龍、35 玉、25 龍、46 玉、36 龍、57 玉、47 龍、68 玉、58 龍、77 玉、88 龍、67 玉、78 龍、57 玉、58 龍、46 玉、47 龍、35 玉、36 龍、24 玉、25 龍、33 玉、23 龍、42 玉、32 龍、51 玉、41 龍、62 玉、61 龍、73 玉、72 龍、84 玉」×3  
 82 龍、83 香、93 龍、85 玉、96 龍、84 玉、94 龍、73 玉、83 龍、62 玉、72 龍、51 玉、61 龍、42 玉、41 龍、33 玉、32 龍、24 玉、29 香、15 玉、16 歩、同玉、36 龍、26 歩、25 龍、17 玉、15 龍 まで 1077 手詰

【作者のコメント】

同じシステムでの微調整の結果の更新です。

「驀進」(将棋世界 1942 年 1 月) と比較した場合、ループ手数は 46 手から 50 手に伸び、合駒回数は変わらず、収束部分は 33 手→27 手に下がり、といった具合です。ループを長くしようとするのと合駒が減るので大体このあたりに収まると思われれます。

こちらこの機構をベースに考えると、結構ギリギリの記録かもしれません。合駒として飛角金銀が使えず、盤面に置ける駒数も限られる中、龍追いの軌道を最大限に伸ばせる配置を求めるのは地道な努力を要求される作業だったことでしょう。

問題は更なる記録更新の可能性がどうかですが、筆者が思いつくのは、添川公司氏が「阿吽」で実現した「微分龍追い」のメカニズムを導入することです。

果たしてそれが可能かどうか。あるいはまったく別の機構で記録更新がありうるか、更なる挑戦を期待したいと思います。

「1 手詰? コンクール」現在の記録

【課題 A】

別詰あり: 「1 手/69 手」soga 氏

別詰なし: 「1 手/67 手」NAO 氏

【課題 B】

「1 手/1077 手」soga 氏

(参考図)

添川公司氏作「阿吽」647 手

(2008 年 11 月・詰将棋パラダイス)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	ス	龍						皇	ス	
二		歩		角	ス	皇		銀		
三						皇	歩		歩	
四	と	皇				香	ス		桂	
五			歩	歩	銀	龍	桂			
六	ス	と		馬	金		ス	ス	ス	
七						龍		圭	歩	
八							桂			
九	龍	香	玉	ス				ス	金	

持駒 なし

※手順は以下の URL でご確認ください

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/kenkyu/cho010a.htm>

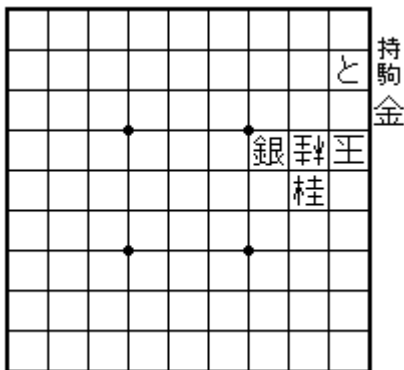


## Twitter から

今はやりの twitter にはフェアリー詰将棋に関するつぶやきが時に見受けられる。結構面白い話題もあるので、そのまま消え去るのも惜しい。そんなわけで備忘録みたいな感じであるが書き留めておこうと思う。つぶやいた方で載せてもらっては困ると言う方は申し訳ないが一報願います。分かりやすいように図化したり注釈も加えてみます。記載順は年月日、つぶやいた人の名前、@以下はその方に対する返信となります。

### 2011/4/30 SugaTakubon

【tttt13 by 協力詰】 5手2解です。簡素だけ・・・。



(注) tttt13…tttt とは twitter 上で行われている詰将棋課題コンクールのこと。13 の課題は「初形に攻方の邪魔駒がある。2つの等位な変化手順において、邪魔駒の直接消去（動いて、捨駒となって消える）と間接消去（動かずに、玉に取ってもらって消える）をそれぞれ実現させた作品。可能なら9手以内で。」というもの

### 2011/4/30 acceleration

@SugaTakubon 【ttt13】直接消去と間接消去。あっけにとられるシンプルさです。やられました。

★

### 2011/5/2 kyo\_yk

@acceleration 使用駒を条件にするということで、さっき考えてたんですけど、裸玉、持駒n歩のばか詰って13手より早く詰みます？

### 2011/5/2 acceleration

@kyo\_yk 12玉形が最短ですか？7手。

### 2011/5/2 kyo\_yk

@acceleration (T\_T)やっと分かりました。歩2枚で詰むとは。やっぱりプロは違うなあ。最終手非限定なのは、ばか詰としては許されない？裸玉、持駒n歩で詰ませる。9手以下、とか。

### 2011/5/2 acceleration ヒッポ

@kyo\_yk 11玉、歩2枚なら13手ですか。

### 2011/5/2 karei

@acceleration @kyo\_yk 2段目か3段目ならどこに玉がいても同じですよ。

### 2011/5/2 acceleration

@karei ですね。

### 2011/5/2 acceleration

「使用駒歩だけのばか詰完全作。最大何枚置ける？」っておもしろいかも。

### 2011/5/2 kyo\_yk

@karei 御意。m(\_)\_m

### 2011/5/2 kyo\_yk

@acceleration うー、13手詰、やっと解けた。

### 2011/5/2 karei

@acceleration 25手で18枚できた。

### 2011/5/2 karei

すみません。できてませんでした。でもたぶんできるはず。RT @karei: @acceleration 25手で18枚できた。

### 2011/5/2 acceleration

@karei 早っ！よく考えると18枚はすぐち置けますね w 最長手数を課題にした方がいいですね。

### 2011/5/2 acceleration

でもTTT的にはならないなあ…。

### 2011/5/3 kyo\_yk

@karei @acceleration 縦に追って、次に横にと金で追う筋？一応それらしい配置はできるけど端の歩が要らないようですね。

### 2011/5/3 acceleration

@kyo\_yk 先に歩の連打で横に追ってから縦に追ってと金を作る、というのが簡単です。攻方 32 と、玉方 97~27 歩、98 玉、持駒歩 9 枚、とか。

### 2011/5/3 karei

そんな感じですか。

### 2011/5/3 kyo\_yk

@acceleration あっ、盤面 18 枚配置じゃないんですね。

### 2011/5/3 acceleration

@karei ただこれは最終手非限定。限定にするにはもう一工夫ですよ。たとえば攻方 25 と、玉方 18 玉、持駒歩 2 枚、みたいな収束。

### 2011/5/3 acceleration

@kyo\_yk この場合は攻方 99 歩~19 歩、玉方 96 歩~26 歩、とかすればよいですが、持駒を認めた方がいいような気がします。

### 2011/5/3 kyo\_yk

@acceleration 確かに。悩ましくなりますね。ばか詰大好きなので、課題出してくださいよ。あ、課題って創作なのか。解くだけしかできないので、無理だなあ。

### 2011/5/3 acceleration

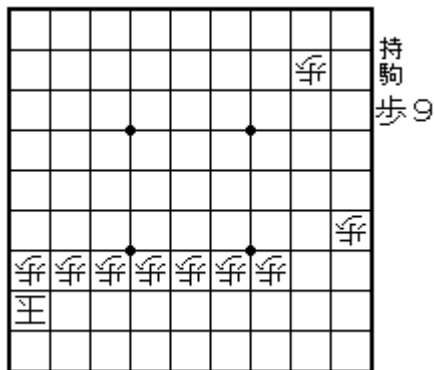
@kyo\_yk 余詰まないような配置の感覚が身につけばばか詰は作れますよ。TTT の課題をばか詰でやってみるとか。かしこだと作りにくいけどばかだと簡単、とか逆にかしこだと簡単だけどばかだと難しい、とかあるのがおもしろいところですよ。

### 2011/5/3 kyo\_yk

@acceleration これ、よーく分かります。たぶん不成物をつくるのと似たような感じ。成ると打歩詰になるようにつくる、玉方なら成らずに打歩詰を誘うわけです。お休みなさい。

### 2011/5/3 SugaTakubon

@acceleration 玉方 16 歩、22 歩、37~97 歩、98 玉、持駒歩 9 枚、協力詰 31 手で非限定なしですね。非限定なしは結構難しいな。

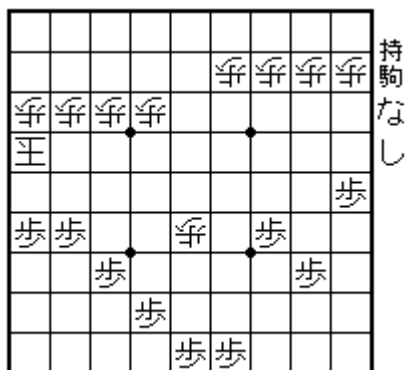


### 2011/5/3 acceleration

@SugaTakubon おお！さすがですね！他に詰め上がりないでしょうかね。

(注) 小林看空さんより歩 18 枚配置の作品が送られてきました。

### 小林看空作 ばか詰 31 手



看空「でも、あんまり簡単にできてしまうので、価値はあまりないかも。」

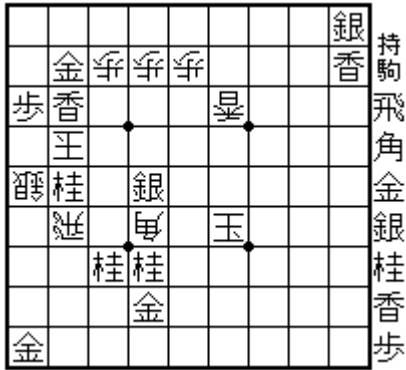
### 2011/5/3 acceleration

さっそく @SugaTakubonさんのブログにFTTTキタwーTTT(たくぼんの解図日記)

(注)たくぼんの解図日記5/3に掲載。【FTTT1】持駒7色で順列持駒連打(飛角金銀桂香歩)の打歩ばか詰13手

### 2011/5/4 karei

【FTTT1】持駒7色で順列持駒連打(飛角金銀桂香歩)の打歩ばか詰13手。完成度低いですが何か？



**2011/5/4 kyo\_yk**

@karei 解けました。余詰防止のテクニックって、こういうのを言うのかなー。しかし、異能とか何とか。普通じゃない。

**2011/5/4 kyo\_yk**

@karei 11 銀とか 12 香は何で必要なんですか？

**2011/5/4 karei**

@kyo\_yk 11 銀と 12 香は置ききれなかった合駒制限です。気にしないでください。

**2011/5/4 kyo\_yk**

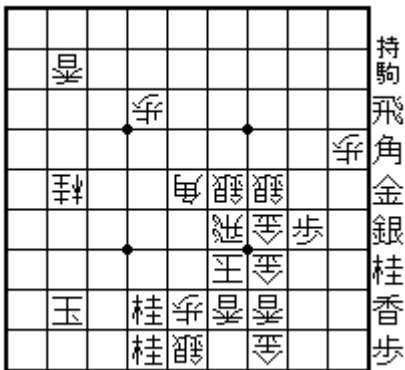
@karei あ、納得です。

**2011/5/4 SugaTakubon**

@karei いや～さすがですね。やっぱり大駒はこの使い方ですよ。日記と WFP のネタに使わせてもらおうと。

(注) 看空さんより FTTT1 の作品が送られてきました。

**小林看空作 打歩ばか詰 13 手**

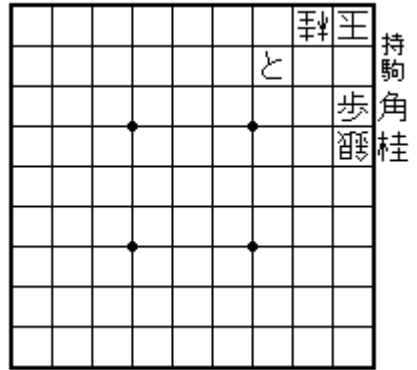


**2011/5/11 acceleration**

通勤中、マネ将棋の詰将棋を考えていた。相手が例えば 76 歩と指すと、7 筋か 6 段目か歩か、どれか一致した手を指さなければならない、というルール。原案は花沢正純氏だったと思うが、細部は覚えていない。とりあえず、生駒と成駒は区別することにする。

**2011/5/11 acceleration**

マネ詰の例題。とりあえず元の図でアップ。22 角までの 1 手詰？



**2011/5/11 SuzukiShogi**

これって王手概念はどうなるのですか？ 22 角としても玉方が 1 筋か一段目か角を打つかしない限り、次に 11 角成とできません。これを王手と呼んで良いのかどうか。

**2011/5/11 acceleration**

@SuzukiShogi ちょっと考えると不思議ですが…この場合、玉を取る手には適用しません。フェアリーではこちらがデフォルトということで一々断ってません(たとえば禁欲ルールなどもそうです)。

**2011/5/11 SuzukiShogi**

そうですか。しかし一手詰でないと言う事は、22 角に対して 33 桂や 25 銀などが受け手として成立するのですよね。うーん、ルールが難しい。

**2011/5/11 acceleration**

@SuzukiShogi 玉を取る手には適用されないので 22 角に 33 桂などは受けになりません。実は初手 22 角と指せるか、という話です。明示してないのでフェアではないですが、レトロの要素を含んでいます。詳しくは後ほど。

### 2011/5/11 acceleration

【マネ詰の例題】一見 22 角の一手詰。しかしこの局面に至る最終手は？と問うと簡単ではない。21 桂は攻方のその前の手(2筋、一段目、桂いずれかの着手)が存在しない。なので 22 角は指せない。(つづく)

### 2011/5/11 acceleration

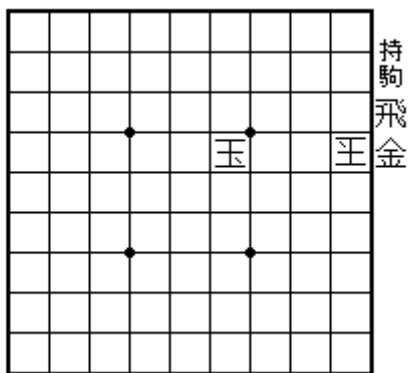
【マネ詰の例題】初手は 44 角。最終手 14 銀(13 歩以下さらにさかのぼることができる)の可能性があるのでこれは OK。合駒は角しかできないので 33 角。同角成、同桂。ここで 22 角は打てない。23 桂、同桂として 2 筋に角が打てる。22 角まで 7 手詰。

### 2011/5/11 acceleration

【マネ詰の例題】まとめると、44 角、33 角、同角、同桂、23 桂、同銀、22 角まで 7 手詰。

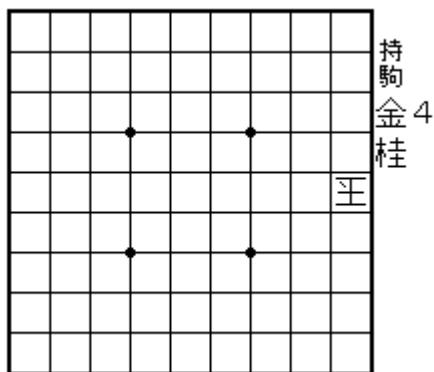
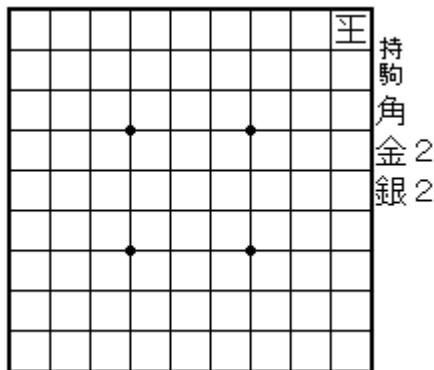
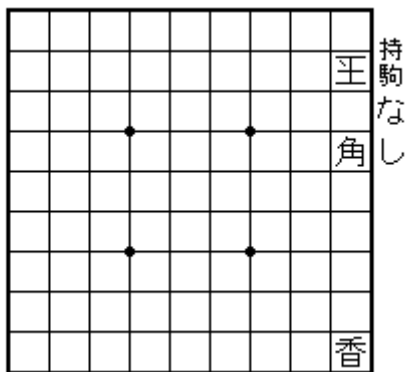
### 2011/5/11 acceleration

【マネ詰の例題その 2】ばか自殺 6 手



### 2011/5/11 acceleration

元祖のマネ詰を 3 題発見！ー花沢正純(カピタン 1985/5)



### 2011/5/11 acceleration

花沢トリビュートの作品集作るか。ビギナー向けの例題クラスの作品集であれば作れそう。

### 2011/5/11 acceleration

WFP や神無一族ものはおもしろいけど難しくて敷居が高い。かと言ってフェアリーランドの易しい作品は物足りなくてフェアリーのおもしろさを伝えきれない。「3 手詰ハンドブック」的な手頃なのがあるといいな。

### 2011/5/11 acceleration

花沢作品集と平行して花沢トリビュート作品集を作っておまけでつけるとか。需要はともかく、少なくとも作業としてはやる気がするな。

### 2011/5/11 SugaTakubon

@@acceleration 26? までかな。3 手目 13 金も成立してないですか？

### 2011/5/11 acceleration

@ @SugaTakubon 3 手目 13 金は同玉の 1 手になってしまいますね。

## 2011/5/11 SugaTakubon

@acceleration あっそうか〜失礼しました。

## 2011/5/11 acceleration

【マネ詰例題その2】ばか自殺6手の解答。16飛、15角、25金、同玉、26飛、同角まで。

## 2011/5/11 acceleration

初手12飛、34飛、3手目13金などが詰まないのは確認してね。

## 2011/5/11 acceleration

マネ詰やってるのは単に昨日の上田さんと甲斐さんの将棋見て「マネ将棋」というルールを思い出したからで特に意味はありません…。

図にしている作品の手順はあえて書きませんので是非解図してみてください。感想などあればWFPまで

## 解答募集締切一覧

---

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

### 6月15日(水)

#### 第33回 WFP フェアリー作品展

フェアリー詰将棋7題

## 投稿募集

---

### JIGSAW BOX #06 作品募集

今年も多くの方の参加を期待します。  
今年こそは自分でも創らなきゃ

- ・使用駒 : 玉、飛、金、銀、桂、歩3の8枚。  
±1枚可。
- ・ルール : 詰将棋なら何でもOK
  - ・手数/投稿数 : 無制限
- ・投稿/解答先 : 小峰耕希  
(jigsawbox@gmail.com)
- ・投稿締切 : 6月12日(日)
- ・出題 : 6月20日(月) ←WFP第36号に掲載
- ・解答締切 : 7月31日(日) ←多少遅れ可
- ・結果発表 : 8月20日(土) ←WFP第38号に掲載

#### ★補足事項★

例年同様、課題駒種に1枚足し引き可の準握り詰とします。投稿作がPC未検討の場合は必ずその旨明記して下さい。投稿や解答のメールを頂いた際には、こちらから必ず受取通知のメールを送り返します。もしメール送信後3日以上経っても音沙汰が無い場合は、本ブログかK.Komine's Boardにご連絡下さい。

メール整理の都合上、作品投稿の際にはメールタイトルに「JIGSAW」の文字列を組み入れて下さい。

昨年までは募集時に「フェアリー詰将棋なら何でもOK」としていましたが、前回普通ルール作も出題してしまったので、今回からは実態に即して「フェアリー詰将棋なら何でもOK」に変更します。

例によってメールフォームを設置します。メールアドレスの入力が億劫な方はこちらからどうぞ。但し相性が悪いと送信時にエラー（原因不明）が出てしまう場合があるようなので、そのときにはお手数ですが、にメール送信お願いします  
m(\_)\_m

## Fairy of the Forest #28

課題：（協力誌）最終手＝桂

投稿締切：平成23年7月15日

（投稿先）

→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

## 新約・神話大全（書籍版）のご紹介

「新約・神話大全」の書籍版が発行されました。



申し込み方法を明記しておきます。是非御購読下さい。

### 申し込みの流れ

「新約・神話大全」入手ご希望の方は下記手順でお申し込みください。

■ 申込者 → 神無太郎 ・ 「新約・神話大全」購入申し込み（eメール：[sgr03057@nifty.com](mailto:sgr03057@nifty.com)）

\*郵便番号、住所、氏名、部数、eメールアドレスを明記願います。

■ 申込者 ← 神無太郎 ・ 「新約・神話大全」  
「新約・神話大全」（メール便/ゆうメール

ル/ゆうパック）+送金口座情報（eメール）

■ 申込者 → 神無太郎 ・ 代金送金

※ 送金手数料は申込者でご負担下さい。

※ 領収書は発行しませんのでご了承ください。

2011年 第35号

### Web Fairy Paradise

非売品

平成二十三年五月号

平成二十三年五月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp